

いるま生涯学習フェスティバル

10年の軌跡

フェスティバルの10年史

いるま生涯学習フェスティバル実行委員会

〔第7回チラシ〕



〔第9回チラシ裏面〕



〔第8回チラシ〕



〔第10回ポスター・チラシ〕



〔第9回ポスター・チラシ〕



〔第10回チラシ裏面〕



生涯学習に関する推進標語、シンボルマークについて

次のとおり、推進標語とシンボルマークが決まりました。（平成7年9月14日）

■ 推進標語について

応募作品数 103点（児童・生徒の部88点、一般の部15点）

● 児童・生徒の部（特選5点）

「生涯学習 地域を生かす 豊かな心」	東町小学校6年	斉藤睦美
「高めよう 地域の文化 皆の手で」	藤沢中学校2年	佐々木とも恵
「学習は 生涯するもの ^き でいるもの」	野田中学校3年	はな ふう な お保
「ボランティア 心と心の 握手です」	東町中学校3年	関本ひろゆき之
「幅広い 世代をつなぐ 生涯学習」	西武中学校3年	こう の 野 敬一郎

● 一般の部（特選1点）

「広げよう 入間の学ぶ 仲間の輪」	小谷田	山下洋子
-------------------	-----	------

■ シンボルマークについて

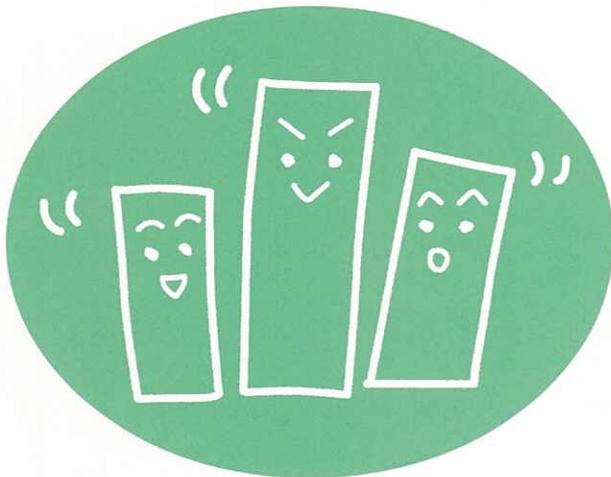
応募作品数 25点（児童・生徒の部13点、一般の部12点）



● 作者 東町三丁目 瀬野敏春

● 作品のイメージ

広範囲な生涯学習の芽が輝きある目標に向かって豊かな花を咲かせることをイメージしています。



◆ アイちゃんマーク

増岡達也さんデザインによる、入間市生涯学習をすすめる市民の会のイメージキャラクターです。フェスティバルでも活躍中です。

10年間のフェスティバルの歩み、皆様の学習活動と同様に、増えたり動いたり、色々な変化をするようになりました。

〔カラー頁解説〕

◆ フェスティバル・ポスター・チラシの10年

第1回を除く全てのポスター・チラシ（表面）デザインは、入間市生涯学習をすすめる市民の会で実行委員の増岡達也さんの手によるもので、親しみやすいデザイン、目を引くキャッチコピー、斬新な色合いが、市民パワーあふれるフェスティバルのイメージとも重なってPR効果を上げていた。また、年々催しが多彩になり、チラシや市報に掲載する情報量が増えてきたため、第7回以降は各会場や催しの内容をイラスト化してわかりやすく伝えることを心がけた。これらのイラストは、当時実行委員やボランティアスタッフだった小川真澄さん（第7回・第9回）、上田裕子さん（第8回）、村田幸子さん（第10回）に描いていただき、フェスティバルの楽しい雰囲気を簡潔に表現していただいた。ポスターは、第5回以降、バス車内に掲示できるよう、B3横版サイズを採用した。

◆ 生涯学習に関する推進標語、シンボルマーク

シンボルマークと推進標語は、市民に広く公募し、第1回のフェスティバルで決定、表彰式を行った。当時は「生涯学習」の普及啓発に主眼がおかれていたため、マークや標語への期待は高かった。マークはフェスティバルフラッグやフェスティバル看板の他、刊行物や記念品等にも使用している。

いるま生涯学習フェスティバル10年の軌跡・目次

カラー頁

フェスティバル・ポスターチラシの10年
生涯学習に関する推進標語、シンボルマーク原案

I 特別寄稿編～フェスティバル10周年に寄せて～	1
II データ編～フェスティバル10年の記録～	24
1. フェスティバルの概要10年史	25
2. クローズアップ	45
①冊子「かがやく special」の発行	
②PR方法の広がり	
③フェスティバルを盛り上げる会場装飾	
3. フェスティバル実行委員一覧	47
4. フェスティバル参加団体・個人一覧	50
5. フェスティバル協賛者・企業一覧	57



I 特別寄稿編

～フェスティバル10周年に寄せて～



いるま生涯学習フェスティバル 祝 10周年

入間市長 木下 博

第10回いるま生涯学習フェスティバルが盛況のうちに終わりましたことを心よりお喜び申し上げます。

平成7年より始まりましたこのフェスティバルは、会を重ねるごとに賑わい、充実し、より鮮やかに様々な色を見せていると感じました。これは、これまでに関わってくださった参加団体や実行委員、入間市生涯学習をすすめる市民の会などの多くの方々のそれぞれの思いや努力が実績となり、様々な形となったものと感謝し、重ねて御礼申し上げます。

「生涯学習」という言葉は、第1回のフェスティバル開催時には、その言葉すら馴染みがなく、一般に理解されていませんでした。近年では、様々な場面で耳にするようになりましたが、言葉こそ知られていても、その理念は十分に理解されているとはいえません。入間市では、このフェスティバルを通じて多くの市民へ呼びかけ、その理念の普及に努めていただきました。市民が求める「生涯学習」が自己充足的学習に留まらず、地域社会に生かすための学習へと変わってきたと思います。

また、開催テーマに「共生」や「協働」などを掲げ、まちづくりに対する市民意識の向上にも努めていただきました。市民による主体的な学習活動や市民活動が充実し、入間市が活気に満ちてきたのは、このフェスティバルをきっかけに、市内外で活動している同じ分野の市民活動団体、また分野は異なるが同じような“想い”を持つ団体同士の交流、情報交換の機会から生まれたものと感じております。

これからも、生涯学習フェスティバルを基とした、まちづくりの芽が大きく成長し、それぞれの花が咲き誇り、市民が生き生きと生活できるまちになるよう願っております。

最後になりましたが、いるま生涯学習フェスティバルが益々賑わい、充実した、入間市の誇れるイベントとなりますよう、皆様の更なるお力添えを賜りますようお願いいたします。

いるま生涯学習フェスティバル10周年を祝して

入間市教育長 石田宣雄

このたび、いるま生涯学習フェスティバルが10周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げますとともに、歴代実行委員長の方々を始めとして関係者の皆様のご理解とご協力に深く敬意を表します。

思い起こせば、この10年は天災やテロ、犯罪の低年齢化、乳幼児への虐待など、悲惨な事件が増加し、国内外で様々な課題が噴出した時代でした。しかし、その一方、災害ボランティアやNPO団体が各地に生まれ、危機感をいち早く感じ取った市民の存在感を強く印象づけた時代でもありました。

このフェスティバルもまた、入間市を様々な角度からよりよくしようとする市民の皆様によって支えられてきたのだと痛感いたします。当初は「生涯学習」という言葉も意味も浸透しておらず普及に苦慮いたしましたが、今やフェスティバルを企画・運営する各分野の市民活動団体の存在そのものが「生涯学習」を具現化しており、PRの大きな効果となっていることと思います。また、フェスティバルは、多様な考えを持つ市民、市職員等が出会い、学びあいながら、連携し企画に取り組む広義の生涯学習の場であり、それをきっかけにして市内に新たな人とのつながりや活動が生まれていったものであります。この10年間の蓄積が、様々な場で成果として花開いていると感じます。

入間市ではこのたび第2次生涯学習推進計画を策定いたしました。その中で、地域の様々な課題を解決するための学習、学んだ成果を地域に生かすための学習など、地域をよりよくするための生涯学習活動を推進していくことを明記しています。いるま生涯学習フェスティバルは、市民活動団体の出会いの場、活躍の場、連携・協働の場として、その役割はこれまで以上に重要になっていくことと存じます。今後とも、引き続き、お力をお貸しいただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、これまでご支援いただきました市民の皆様、学校、民間教育事業者、企業の皆様に心より感謝申し上げ、いるま生涯学習フェスティバル10周年記念誌の発刊にあたりお祝いの言葉といたします。

生涯学習フェスティバルを振り返って

生涯学習をすすめる市民の会会長 松永 輝義

いるま生涯学習フェスティバルは、入間市生涯学習をすすめる市民の会が誕生した年の10月に、第1回が開催されました。行政と市民が一緒になって、生涯学習に取りくんでいる方々を応援すると同時に、このフェスティバルを通して、さまざまな生涯学習に取り組む方々がつながることを願っていました。私も第1回のフェスティバルの実行委員長を勤めさせていただきましたが、参加団体等も、各地区の公民館などで活動している団体やサークルにお願いする形がほとんどでした。会場の設定や準備、全体の装飾なども、市民の会のメンバーと担当の行政の方々で行ったものです。初期の頃は、市民に生涯学習フェスティバルの意図も伝わらず、当日の参加者も少数で苦勞したものです。

今回、第10回を終えて、初期の頃とは異なる姿を、実行委員会の中でも、当日の会場の中でも見せています。その源をたどれば、

一つ目には、参加する団体の中から実行委員がでて行政職の方々とともに計画、実行していることにあります。

二つ目には、フェスティバル実行のために多くのボランティアの方々が加わっていることです。

三つ目には、参加する行政側を見ると担当の生涯学習課だけでなく、幾つかの課が、このフェスティバルに加わり、課と課の横のつながりを確かなものにしたことです。

市民と行政が協働して、ひとつの目あてに向かって行動することはむずかしいことも多々生じてきますが、互いのよさと立場を認め合いながら取りくむことによって、元気で活気のあるまちづくりに向かうことができると思います。生涯学習フェスティバルは、ひととひとがつながり、よいまちをつくるために大きな役割を果たしてきたと信じております。今後どのような姿になるかわかりませんが、市民と行政が共に歩む気持ちを持ち続ける限り、市民の中に位置づいていくことと思います。

生涯学習フェスティバルの思い出

元生涯学習フェスティバル事務局 中島竹正

平成7年にスタートした「いるま生涯学習フェスティバル」が、多くの関係者のご尽力により、10周年という節目を迎えられ、おめでとうございます。

発足当時は、生涯学習の花火を打ち上げる必要がある。との行政側の理由から、記念式典、シンボルとなるロゴマークや推進標語を公募し、優秀作品の発表や表彰なども行ったりしました。

今から考えるとかなり無理なスケジュールの中で、生涯学習をすすめる市民の会の皆さんと様々な議論をしながら、開催に向けた準備をしたことを懐かしく思い出します。

この場をお借りして、当時、特にお世話になった清水さん、古藤先生、瀬野さん、水村さんに改めて感謝をいたします。市民の会の皆さんをはじめ、多くの人と共に汗を流して、第1回生涯学習フェスティバルを開催できたことを事務局として関わった一人としてお礼申し上げます。

ここ数年は、金子おやじの会のメンバーと一緒に、自分たちが作った手打ちそばを児童センター横の模擬店で販売し、多くの方に喜んでいただいています。

当時は、人集めがたいへんでしたが、今は、多くの市民のみなさんが、さまざまな分野で主催者として、また見学者として、この生涯学習フェスティバルに参加し、それぞれの目的に応じて楽しんでいます。

この催しは、学習活動の成果を発表する場としても、年々充実してきていますので、当時の状況を知る一人として、大変ありがたく思います。

いま、市民と行政の協働による新たなまちづくりが始まっています。今後とも、多くの市民の交流の場として、多様な生涯学習の輪がさらに広がっていくことを祈念しています。

フェスティバルを振り返って

生涯学習フェスティバル事務局 宮岡 利幸

10年前、2度目の公民館職員として金子に着任した私は、マンネリ化しそうな自分自身の仕事振りをなんとか打破したいと悩んでいました。ちょうどその頃、入間市でも生涯学習という言葉が施策上使われるようになり、推進事業として生涯学習フェスティバルが実施されることになりました。「生涯学習という考え方が、これからの公民館を変える！」という予感を感じ、第2回目からの実行委員会に参加させてもらうことにしました。つまり、生涯学習という考え方によって、時代の要請に合い、市民に必要とされる新しい公民館を目指すことができるのではないかと考えたのです。

その頃のフェスティバル実行委員会は、生涯学習をすすめる市民の会と公民館職員で組織されていて、そこで出会う市民の会の方たちは、多様な分野で活躍する様々な立場の方たちがいて、私には皆さんが眩しく見えたものでした。また、事業を企画の段階から市民と行政職員が協力し合って進めること自体に何か新しい風のようなものを感じたように記憶しています。今でこそ「協働」という言葉があたりまえのように使われるようになりましたが、おそらく入間市で初めてこの言葉をテーマに掲げたのは、生涯学習フェスティバルの実行委員会が初めてではないでしょうか。

この実行委員会に参加させてもらうことで、事業の企画立案やテーマ設定の仕方、あるいは講師の選定方法など、様々なことを学ことができました。そして、学んだことを公民館の福祉講座や環境学習などの事業に活用することができたと感謝しています。また、従来の社会教育の考え方にはなかった民間企業や学校教育との連携なども、積極的に進めて行くことが大切なのだということも学ぶことができました。

このように、私にとって生涯学習フェスティバルは、公民館職員として多くのことを学ぶことのできる良い機会となったのです。

その後、人事異動で生涯学習推進担当になり、多くの皆さんの協力で4回の生涯学習フェスティバルを無事修了することができました。深く感謝申し上げます。今後も、このフェスティバルは、生涯学習推進の中心的な事業として取組まれるべきだと考えています。そしてこの事業がますます発展、充実していくためには、変わらぬ市民の主体的な参加と全庁的な職員参加の拡大が不可欠であると存じますので、どうぞご協力をお願い申し上げます。

10周年記念誌の発行によせて

第5回いるま生涯学習フェスティバル実行委員長 秋葉 英夫

「いるま生涯学習フェスティバル」が10周年を迎えたことはフェスティバル実行委員および関係者の皆さまの日頃からの「一人でも多くの方々に生涯学習の楽しさをわかってほしい」「一人でも多くの方々に生涯学習をすすめよう」と願う心掛け、と努力によって迎えることが出来たもので、関係皆様に心から感謝と尊敬をいたします。

「いるま生涯学習フェスティバル」は、いまだに余暇の過ごし方を模索されている方々や、自己の生涯学習をさらに充実させたいと思われている方々のために、公民館単位に活動されていた活動の結果を一年に一回、一堂に会して発表している「いるま生涯学習フェスティバル」は、多くの市民に「作品のすばらしさに」「芸の鮮やかさに」感動を「自分にも出来るかしら」とか「私も始めようかしら」と希望を抱かせたことでしょう。

また、フェスティバル実行委員の活動の姿は、多くの市民にボランティア・スタッフの有難さや尊さを感じたものと思います。

10年はひとつの節目、フェスティバルに参加される方も、フェスティバルを企画し実行される方々も、入間市民のために更なるご努力を賜り、「いるま生涯学習フェスティバル」が益々のご発展されることを祈念いたします。

生涯学習フェスティバル10年を祝して

入間市生涯学習をすすめる市民の会 三浦はるみ

平成7年10月1日に産業文化センターにて「第1回いるま生涯学習フェスティバル」が開催されました。それから10年。手探りの中、毎年懲りずに実行委員として関わってきました。この10年が、長かったのか短かったのかは人それぞれだろうと思います。私事では、小学生だった二人の息子は成人しました。

平成7年当時、「生涯学習」の文言は一般に知られていませんでした。もちろん、私たちも「生涯学習とは・・・」がよく解っていなかったように思います。

回を重ねるフェスティバルの中でも、第4回「共生」・第5回「協働」は、私の提案でもあり、思い出深いものになりました。

「共生」とは、呼んで字のごとく「共に生きる」ことです。今の世の中、強いものが弱いものを圧しています。子どもたちは、安心して外遊びも出来ない時代です。高齢者は安心して、余生を送れません。老若男女・障害のある人もない人も、ともに手を携えて社会を構成しよう、との思いからでした。「島筒英夫ピアノコンサート」は、「共生」に合致し、とても感動しました。

「協働」は、物議を醸し出しました。今でこそ投げなく使われていますが、当時は、喧々諤々の議論でした。「協働」とは、各々持っている特色を出し合っ、ともに一つのことを成していく。行政は行政の特色を最大限に生かし、市民は市民の立場からその特色を生かしていくことが協働だったのです。「いるま生涯学習フェスティバル」は、市民との「協働」で、他市町村の先駆的な役割を果している、とも聞いています。

ほんのちょっとした「出会い」が、次の「出会い」を生み人と人がつながっていきます。全く何も解らない中で始まったフェスティバルは、多くの出会いを見つけました。

第10回「出会い∞」は、まさにこの通りでした。実行委員48名・参加団体158は、ほかに類を見ないと思います。しかしながら、問題がないわけではありません。どんな場でも、常に問題はあります。10回のフェスティバルを振り返って思うことは、人と人が創り上げて行くものだと思うのです。完全ではありません。だからこそ、進歩があるのではないのでしょうか。私自身、中に特別優れている訳ではありません。何の才能もありません。ただ、ほんの少しの思いやりと、あきらめない気持ちだけです。様々な才能を持った方々との出会いは、自分を豊かにさせてくれました。「出会い」を大切にすることは、会にとっても大事なことではないのでしょうか。「いるま生涯学習フェスティバル」が益々発展していくことを祈念いたします。そして、関わってくれたすべての方に心から感謝いたします。ありがとうございました。

継続は素晴らしい「生涯学習フェスティバル」の10年

生涯学習をすすめる市民の会 杉山 若江

「継続は金」とよく言われますが、私にとってこの言葉は永遠のテーマのような気がします。

考え付くとすぐ実行、しかしあきらめも早い、もう少しじっくり考えたらと思慮深い友人にはたしなめられてきた事が多いからです。

フェスティバルについては、自分が実践してきた訳ではないのですから当然10周年は迎えられ、引き継がれていく事でしょう。しかし私が係わり続けた10年の魅力は何かと改めて考えました。

今まで何回目の時には何があったのか忘れていましたが、今回10年目と言うことでオープニングの時に、10年を振り返ることにしました。写真を探していると、思いでボロボロ・懐かしい顔ゾロゾロでしばし見いってしまいました。

20世紀末には「入間の100年」をやろうと言うことで、100年間の歴史を紐解き、写真を集め、エピソードを取材したり、1号からの市報をめくって、台本を作りあげました。

ナレーターの間には童謡の合唱、詩の朗読、スライドを入れたりしました。当時はスライド、今回10周年はパソコンによるパワーポイントと、ここにも時代の変化を感じます。

また、手話パフォーマンスの丸山浩路氏をお願いした時は、なんとしても来て欲しい、しかし協賛金を頂かなくては出来ないなので協賛金集めを頑張り、そして、講演料を半分まで値切ったりしました。

当日丸山氏に150箇所ぐらい協賛金を頂きに行った話をした所、感動して帰りには「皆さんでお茶でも飲んで下さい」と2万円も下さいました。スタッフからは「講師からお金を貰ったなんて聞いた事が無い、そんな人は杉山さんだけだよ」と言われました。丸山氏の講演を聴いた方達からは、男性も泣けてしまった、良かったと言う声をたくさん頂いた思い出があります。

永い事係わってみると、泣いたり、笑ったり、スタッフとガンガン話しあったことを思い出しますが、継続したがゆえに出来た多くの人とのつながりが私の財産になった事、係わる事が私の生涯学習であったのでは無いかと思います。

「生涯学習フェスティバル」10周年おめでとうございます。

私にとっての10年間のフェスティバル

生涯学習をすすめる市民の会 室山 茂子

10年目のフェスティバルの参加者の顔は晴れやかでとても楽しそうに見えた。それぞれの生涯のテーマを見つけるため、そして共に歩む仲間を見つけるために積極的に実演やら紹介のちらしを作って配布をしたりして動いている。皆すてきに見える人達だ。

フェスティバルが初めて開かれた10年前、生涯学習という言葉が障害学習とよく間違われるくらいメジャーでなかった頃、新しく生涯学習フェスティバルをたちあげましょうといっても何のことやらわからずに、頼まれて義務的に参加した人達は戸惑いの表情を顔に表した。

(協働) また市の職員と一般市民が共同で事業を行うというほとんど全国に先駆けた新しい形を取ったことに関して入間市はすばらしいと思う。初めての試みなので、歯車はなかなか旨くかみあわなかった。たいていの事業の場合、市の職員が骨組みを作り市民はその形にそって協力をしていくというのが一般的で、それを急に生涯学習という言葉のもとに、市民と共に考え共にフェスティバルを作り上げようと提示された市の職員と市民の意志の疎通は多くの話し合いを必要とした。このようなお互いの立場を除いたとしても人と人とが二人以上で同じ立場で協力し合うことは難しいのだから。フェスティバルの形、協働のあり方、10年間の月日はたくさん問題を話し合いながら多くの人の努力で大きく育ち、笑顔のフェスティバルになった。

今後、フェスティバルをやることで何を提示し生み出していくのか、生み出したものを育てていくにはどのような形がより良いのか、楽しみな問題がいっぱいある。

私にとって10年間フェスティバルにかかわって思えることは、人ってすばらしいということにつける、っかな？

覚えていますか？【歌と映像で綴るいるまの100年史】

第6回いるま生涯学習フェスティバル実行委員

オープニング担当 塚田 とも子

舞台中央に位置した白いシルクスクリーン、そこに映しだされる映像の数々・・・。

それは100年間のタイムスリップ、道の真ん中に線路が、そしてそこには馬車鉄道が走っている、これは今の扇町屋通り、青梅まで続いていた。90年前の大正4年には西武鉄道の全身、武蔵野鉄道開通。約80年前の大正12年の関東大震災、全壊の瓦工場や壊れた壁。そして忘れてはならない豊岡大学の受講風景には女性の姿も・・・、これはまさに生涯学習の原点だったのでは。スクリーンの向こうには童謡連盟の方々が座る、影絵の様に美しい。透きとおるような歯切れの良いFM入間（現在のFM茶笛）のS女史に促される童謡は「鉄道唱歌」・「里の秋」・「さっちゃん」と続く。八高線は昭和6年開通した、当時蒸気機関車の通過による火災回避のため、線路際の民家はわらぶき屋根を瓦にするか、転居するかを求められたとか。

「観客が固唾を飲んで舞台をみつめている、うん、うまくいくかも・・・」
ところで狭山ゴルフ場が戦争中所沢にあった陸軍航空学校の分教場として飛行場であったなどと、現在の市民の何人がご存知でしょうか。舞台は暗転となり、突然ライトはエプロンステージへ。テーブルを囲んで市長と教育長は【市民の会】会長のインタビューを受ける、しかも「市長の少年時代はどんな遊びを？」などと真面目に質問したり、教育長には「少年時代の学校の様子」などを伺ったり・・・させていただいたにもかかわらず、実に丁寧に楽しそうに応えてくださったのだ、さすが。後半は戦後、陸軍士官学校の跡地に米軍が進駐、ジョンソン基地の登場、町もジープが往来し様変わりをしていった。昭和41年には武蔵町と6つの町村が合併し、【入間市】が誕生、人口は4万6千人だった。舞台スクリーンの後ろから登場したT氏は【サトーハチロー】の詩や、【俵万智】の短歌の朗読、重厚な、しかしさえた声も懐かしく思い出す。歌の最後は「ふるさと」“うさぎ追いしかの山、こぶな釣りしかの川・・・忘れがたきふるさと”
舞台と会場が一つになってみんな【少年少女合唱隊】になり、50分間のドラマは幕を下ろした。

「ああ、これで良かったのだ、みんな涙を拭いている、私の目も熱いものが流れた、成功・・・かな？」

「たまには仕切りを取っ払ってみようか？」お叱り覚悟の私たちでしたが、この【感動】がすべてでしょうか。反省会で市長からいただいた表彰状【感動を与えたで賞】は、私のン十年の人生の中でどの賞より嬉しいものデス。こんなステキな企画にかかわり台本を作らせていただいたことは、私の中に映像として【ピシヤリ】ととどまっています。昨日のこのように、懐かしい5年前の思い出をありがとう。

生涯学習フェスティバル10年を祝して

入間市手話の友の会 高橋 留美子

平成16年11月28日のフェスティバルで10周年となり、すっかり市民の催事として根付いてきたようです。しかも「元気」を発信しつづけてきたことは本当に素晴らしいことと思います。運営の中心を担ってきた方々や陰になり日向になり支えてこられた方々の熱意に頭が下がります。ご苦労様でした。年々内容も多彩になり、市民の皆さんが身近でお手軽に生涯学習の内容に触れられるチャンスの場合、まさしく「出会い∞（無限大）」のフレーズのごとしです。ただ規模が拡大し会場も増えて大変、今後運営は大丈夫かしら、という声も聞かれます。意見を参考にして全体をまとめていくのは大変と思いますがこれまで10年間築いてきた実績を基に今後も「継続は力なり」を信じ、フェスティバルを続けていただきたいと思います。毎年参加して感じることは「まず自分たちが楽しもうよ、そしてお隣さんにもつなげていこうよ、元気出そう！」です。私も私から発信できるように努力します。みんなが応援し合える関係って元気出ますよね。きっと。

手話の友の会は、聴覚障害者との活動報告、聴覚障害や手話について、といった内容のパネル展示で参加させていただいています。近年は活動をさらに充実させるために収益の必要があり、出店にも力を入れています。聴覚障害は外見では分からない見えない障害なので簡単に理解するにはなかなか難しい障害と言えます。生涯学習フェスティバルはたくさんの市民の方々との接点を持てる場なので、私達も皆さんに楽しんでいただけるよう企画していきたいと思います。皆さんぜひお立ち寄りください。

“点字”と“展示”

点字ボランティア入間六ツ星会 柴田 節子

「点字の展示ってなに？」漢字を見れば“点”と“展”の違い一目瞭然ですが、話をしているときはどちらも“テンジ”と発音するので漫才のような会話になって大笑い、第1回目の生涯学習フェスティバルに友人を誘った時のこと。ことほど左様に当時はまだ、点字は入間の市民権を得ていませんでした。

「市民と行政との協働」をスローガンに、フェスティバルも10回を重ね内容を充実してきたことを参加団体として嬉しく思います。

当会も多くの人に点字を知って欲しいとの思いで、第1回から参加しています。

『点字五十音図表』『点字本』『点字絵本』、ときには折り紙やカラフルなイラスト付き作品を並べて、人目を引くよう工夫を凝らしています。また点字を打ってもらう「体験コーナー」も設けました。点字を打って触って感じて、その点字を“目”として生活する視力障害者への理解を深めてほしいからです。それにしても、マンツーマンで指導するのですが、子供たちの覚えの速さには脱帽、脳の柔らかさがうらやましい！

- いま当会にとっての「生涯学習フェスティバル」とは——と顧みれば
- 一、「点訳ボランティアグループ入間六ツ星会」が、市長はじめ行政サイドと市民に認知してもらう“場”となったこと
 - 一、これを契機に点訳活動へ行政からのバックアップが整ってき、機械化が進み点字による公的情報サービスが向上したこと
 - 一、フェスティバルを通じて人脈が広がり、中古パソコンの譲り受けなど恩恵を受けられたこと等々

歌舞伎でいえば黒子の役が照明を浴びて舞台に躍り出した人に似て、「点訳ボランティア入間六ツ星会」が市民権を得た舞台、それがいるま生涯学習フェスティバルでしょうか。

ボランティアなのになぜ“生涯学習”？“障害福祉”でしょなんて声も聞こえます。いやいや“生涯学習”なのです。点訳する時は、左右に侍らず辞典に事典、漢和に英和にときには人名・地名辞典と大学生も真っ青という調べをやりまわす。他人様のためにやっているのに、何の事はない、自分のために勉強しているのです。老いても脳を使うからボケないし(願望)、と自己満足しつつ頑張っています。

だから「点訳ボランティア」イコール「生涯学習」なのです。

終わりに運営スタッフ皆様の御尽力に、感謝と御礼申し上げます。

生涯学習フェスティバルの思い出

入間市童謡連盟 有馬 麗子

参加者が、1分ずつの持ち時間で挨拶をするという趣向で始まる第5回目。私は、割烹着姿で日本タオルをかぶり、古き良き時代の？お母さんに扮しての挨拶。

「象さん、象さん、お鼻が長いのね」といきなり切り出した私の挨拶は、他の方々と比べますと少しばかり型破りだったのかもしれませんが、この歌の短い歌詞から子どもが母親を自慢し、お母さんが大好きという思いがそのまま伝わってくる童謡の代表曲なのです。

受付で、大きな模造紙に「母」という漢字を、市長始め来場された皆さんに書いていただき、それを舞台いっぱい広げて「お母さん」にちなんだ童謡を歌ったことが昨日のここのように思い出されます。

最近マスコミで報じられます「子どもを虐待する母親」逆に「子どもを過保護に扱い就職先にまで付き添う母親」など両極端の母親像を見るに付け、色々な童謡に歌われたやさしいお母さんの様な子育てをして欲しいと、痛切に感じるこのごろです。

童謡の歌詞には「自然の豊かさ、美しさ、親への尊敬の念、動物たちへの慈しみ、故郷への思い」など先人の方々の思いが込められており、日本にしかないと云われる童謡は、ぜひとも後世へ残したい文化の一つだと思います。

また、童謡が認知症の方たちに、「過去を思い出させたり、痴呆の進行を抑制する効果がある」という記事に接しましても、老人大国になりつつあるわが国においては、この童謡が私をはじめ年老いた方々の感情の活性化を促し、元気な生涯を送るために役立つ、正に生涯学習の一助になるはずとの思いを新たにしております。

母と言う字を書いてごらんをさい

やさしいように見えてむずかしい字です

恰好のどれない字です

やせすぎたり太りすぎたりゆがんだり

ほきくずれたり：笑ってしまったり

お母さんにはないしよですが

ほんとうです

サトウハチロー

生涯学習フェスティバルとおやじの会

金子おやじの会 北村 暢章

そもそもおやじの会は、金子の地におやじの生涯学習を行うために作られたものであるというのが建前である。従って、酒を飲んでいないときはパソコンを教えたり、料理を教えてもらったり、そばを打ったりと多彩な、教え教えられる活動を行っている。

そんなおやじの会に生涯学習フェスティバルの話が来たのは1998年、今から7年前なので、生涯学習フェスティバルが始まってから3年目というところだろうか？当時はまだ活動2年目で枠組みを作っていたところなので、展示するものも、模擬店を行うものも何もなかった。このため、1998年は他の団体の手伝いをするということで始まった。

もちつきを手伝ってみたが、ただ手伝うだけでは何か充実感がない。何か探さないといけないと思って、いいアイデアを探している内に、そば打ちの得意なメンバーが加入。ここぞとばかりに無謀にもそばを出そうということになったのが2000年。となるとそばを打つ人が5人程度、そばだけではつまらないので天ぷらも付け合せるということになる。このためにそば打ちの道具も揃えないといけない！！で、皆得意の分野を作って自然と布陣が決まってきた。そばを打つ人はそば打ちの道具をそろえ、朝早くからそばをうって、会場に模擬店の始まる直前に持ってくる。天ぷらは野菜を作っている人がいるので、まず野菜を収穫して、会場に持ち込んで天ぷらを作る。段々形ができてきたが、最初は段取りがなかなかうまくいかなくて結構苦労した。天ぷらが十分揚がっていないわ、そばを作るのが間に合わなくて長い行列ができるはで、楽しんでるんだか、苦しんでいるんだか。

そうこうしているうちにもう5年目になった。そばは200食程度用意、天ぷらはきたら即揚げだすことで、何とかペースができてきた。知名度も上がって、リピータと思われる人もちらほら見かけるようになった。また、最近では環境への配慮を心がけ、エコフェスティバルへの取り組みにも積極的に参加するようになってきた。

最後に、おやじの会の手打ちそばは、生涯学習の成果の実演という意味では生涯学習のいい例になっているのではないかと自己満足している。これからも、生涯学習を続け、生涯学習フェスティバルで成果発表をしていきたいと考えている。

「生涯学習フェスティバル」とボランティア活動

児童センターボランティア会 岡野 亘

私が「生涯学習フェスティバル」に関わるようになったのは、第2回のフェスティバルの時、当時家族で携わっていた入間市児童センターのミニSLの運行からです。その後、児童センターのボランティア、リサイクルプラザの市民ボランティアによるリサイクル研究室、環境省こどもエコクラブのサポーター、文化活動では西洋音楽の演奏団体の活動を通して「生涯学習フェスティバル」に参加して今日に至っています。このように私が携わって来た活動は、子どもたちに向けてのボランティア活動が多くの部分をしめていますが、それは、子育てを通しての私たち夫婦の生涯学習そのものとも言えます。

回を重ねて行く中で、私として大きな転機となったのは、第8回のフェスティバルで、参加団体合同企画に参加したことです。それは2つの意味を持ち、一つにはそれまでの一団体として完結していた参加から、他団体の方、実行委員の方、事務局の方との協働作業という機会を得たということです。そして公共施設でのボランティア活動を始めてから「ボランティアとは？」という自問を持っている中で、同じ条件、もしくは行政との関わりながらボランティア活動を行っている団体の方との企画「市民が考える市民参画のまちづくり」のディスカッションに参加し、自らのボランティア活動を見つめるという機会を得たことです。そこで、ボランティアには「自主・自立性」、「無償性」そして「社会性」つまりは「必要性と必然性」という条件が要求されていることを私は確認しました。

第9回、10回のフェスティバルでは実行委員として、実行委員会、役員会に出席させていただき、皆さまの「生涯学習フェスティバル」への関わり方や思い入れなどを知り、そこで社会性、コミュニケーションの重要性を再確認しました。そうした中で出会いやきっかけをつくり、人と人を結びつけよう、まとめていこうという熱意にも接し、私自身、「生涯学習フェスティバル」はもとより、様々な場所での活動の励みにもなりました。

生涯学習としてのボランティア活動。私たちのまち。「市民と市民」、「市民と行政」、「行政と行政」の協働によるまちづくり。「生涯学習フェスティバル」が提示し続けて来た10年はかけがえのない歩みとして、この歩みは止めるわけにはいかないという思いを持ち、その中の一つに「生涯環境学習」という幟を立てたいとの希望を持っています。

生涯学習フェスティバルの思い出

入間市民謡連盟 田中 祥弘

私が最初に見に行ったのは、第4回いるま生涯学習フェスティバルでございました。食べ物のお店またいろいろな作品が展示してあり、沢山の人が大変賑わっていました。私も展示作品を見て回り館内一周しました。その時に民謡連盟もこのフェスティバルになんとか参加をしてみたいと思い、早速教育委員会生涯学習課に電話をして見たところ、参加をしてみても下さいという有難い返事をいただきました。早速民謡連盟の会議の中でフェスティバルについて話して見ましたところ、役員の理解をいただき民謡連盟も参加してみようじゃないかと、話がまとまりました。そして第5回いるま生涯学習フェスティバルに三味線、尺八の楽器展示体験ということで初めて参加をさせていただきました。この時に三曲連盟さんも箏と尺八体験と言うことで初めて参加をしました。

第5回ではホール舞台で三十分間と言う時間をいただき、民謡七曲唄わせていただきました。そして二階のロビーの一角に民謡連盟と三曲連盟で楽器体験コーナーとして準備させていただきました。そしてエレベーターで降りる人、階段を昇ってくる人、大勢の方に三味線、尺八体験をしていただき大いに賑わいました。たしか第6回の時でした、木下市長が三味線の体験をしてくださいました。そのとき大変うれしく、また元気をいっぱいいただきました参加して本当によかったと思えました。今は一階の和室で大勢の方に楽器体験をしていただき頑張っております。

そして今回初めて実行委員会に加わりました。実行委員会は会議も多く私はあまり会議に出席できませんでしたが、山尾実行委員長をはじめ市役所の方、各公民館の方、市民の会の方、団体の方々と出会い、大変うれしく思っています。そして会議の中でフェスティバルの内容が少しずつ仕上がってゆくのが大変うれしく、また楽しく思いました。私は会場調整部会でもございました。そして第10回いるま生涯学習フェスティバルが誕生し11月27日（土）早朝より会場の準備、オープニングのリハーサル、そして夕刻より実行委員会と各団体の方々との交流会も大変賑やかに盛り上がりました。そして翌11月28日（日）第10回いるま生涯学習フェスティバルの幕が開き大勢の人が賑わい、出会いが始まりました。オープニングには木下市長も消防署長の服装でご出席くださいました。入間市西武地区の消防訓練の途中とのこと、そしてフィナーレでは石田教育長も楽しそうに踊っていました。私もいっしょに踊りました。

第10回いるま生涯学習フェスティバルも無事盛大に終了いたしました。今回始めて実行委員会に加わり一年間大変ではありましたが、とてもすばらしい思い出になりました。山尾実行委員長をはじめ実行委員会の方々には心より感謝を申し上げます。すばらしい出会いができました。有難うございました。

いるま生涯学習フェスティバル10周年に寄せて

入間市社会福祉協議会 池田容子

いるま生涯学習フェスティバル10周年、おめでとうございます。

社協のフェスティバル担当！？として、10回目まで休むことなく参加できたことにびっくり！しています。「生涯学習」の意味はよくわからないけど、とにかく多くの市民の方に入間市ボランティアセンターのことを知ってもらいたい！日頃市内で活躍している福祉ボランティアのPRと仲間集めのよいチャンス！と意気揚々に紹介パネルをバンバン作ってボランティアさんと一緒に楽しく（！？）参加した1回目から・・・まちづくりをテーマに「市民活動と行政部会」の企画・運営を経験させていただいた実行委員としての10回目まで・・・あっという間・・・でした。市民のみなぎる「パワー」に驚き・とりつかれました（笑）。回数を重ねるごとに会場が広くなり、すべてを見ることができないことは・・・残念！9回目から実行委員として参加したことが大きな転機で、フェスティバルが出来上がってくる様子がわかりよい経験になりました。生涯学習フェスティバルを通じて、さまざまな分野で活躍しているみなさんとの「出会い」から「つながり」がもてました。これは大きな宝ものです。次回は・・・初心にもどってもう一度、入間市ボランティアセンターについて市民のみなさんにわかりやすく伝えていきたい！フェスティバルでの「出会い」から「仲間」になることを期待しています！

生涯学習フェスティバル十周年を祝して

たすけあい語来里 堀 夫紗子

継続は力なり!!生涯学習推進の目標は、まちづくりと伺ったのは第9回が終わった時でした。生涯学習フェスティバルに参加する度に生涯学習のまつりって何なの?と、ただ慌ただしい思いがあるばかりでした。

しかし10回目は今までの成果が見事に根付き芽が出たと実感しました。

市民と行政の協働でまちづくりの実践活動の場を作り出しました。ねばり強く継続し、牽引して来た方々がいて、入間市内のあそこで、ここで、学び活動しているあらゆる分野の人々が、一同に会する場が出来ました。出会いの場、顔の見える話ができる場が、誰もが知らない間に作っている他者との垣根を越える場が出来ました。このときを大切にし、参加をするすべての人がつながり力を合わせて新しいまちづくりが始まります。

私個人としては、多くの方々と知り合い、意見交換をすることが出来、沢山の元気と知恵をもらいました。そして地元の活動に力を得ています。多くの人との力を合わせることを出来ることを喜んでいきます。

私にとっての生涯学習フェスティバル

たすけあい語来里 岩崎 マリ子

無から一つのことを生み出し10年続ける事は容易な事ではない。大きなエネルギーが必要である。多くの人や組織を動かす事は一人の力ではとても出来ない。実行委員長をはじめ、実行委員・事務局の皆様の大きなエネルギーが集ってフェスティバルも10回を迎えられた事と思う。実りの多い第十回でした。そしてお疲れ様でした。

10年前は私にとって「生涯学習」という言葉すら目新しく思えた頃でもあった。個人的にはフェスティバルの会議について行けず時折頼まれた部署をこなす程度の関わりしか持てなかった。しかし10回目の地域福祉「ちょっと気になるこのまちの福祉」は私たちが8年前に初めたボランティア活動で絶えず考えている事であった。このテーマはまさに市民と行政と一緒に考え解決していかなければならない問題であった。当日迄の会議の中で市民と行政職員という壁が無くなり皆一人の市民であるという認識が生まれた事を実感した。他人事ではなく、我が事と思えた時取り組む姿勢が変わる事を思う時、第10回が新しいスタートになったと思った。

生涯学習フェスティバルに関わって

どろだんごの会、生涯学習をすすめる市民の会 関谷敦子

第10回の生涯学習フェスティバルが終了しました。10年前このフェスティバルの立ち上げに関わり、これまでずっと支えてきた方々の努力には本当に頭が下がります。その方々の大きなエネルギーの束のお陰で「いま生涯学習フェスティバル」は10回目を迎えることができたのだと思います。

私は変化の激しく様々な情報が飛び交う世の中で迷いながら子育てをしている親同士が支えあっていく「どろだんごの会」という団体の代表として、4年前から生涯学習フェスティバルに関わらせていただくようになりました。初年度は公開ディスカッションの参加者として、2年目は他の参加団体の方々と共に企画を創りあげる団体の一人として、そしてこの2年は実行委員としてフェスティバルを支える側として関わり、色々な人と出会い、勉強させていただきました。

4年前にフェスティバルと出会ってから、現在までの間にこのお祭りに次第に深く関わるようになってきました。それは入間市の中で活動している様々な団体が出会い、つながっていくことで、「ああだったらいいのに・こうなったらいいな」という市民の思いを実現できる可能性が見えたからです。そしてまた、行政職員の方々と共に考え行動していくという手段があることを知ったからです。フェスティバルがなかったら出会わなかった行政の方々、いくつもの市民団体と、フェスティバルがあったからこそ、知り合い、共感し、お互いに刺激を受けつつ協力しあっていること、それが重要であると考えたからなのです。

「生涯学習」という言葉を使うと、あらゆる前向きな人の活動を包括することができるように思います。スポーツも、芸術も、子育ても、「自分発信のやってみよう」という思いさえあれば、すべて「生涯学習」という言葉でつなげることができるわけです。そして、団体の中の一人ひとりが、人間として様々な興味関心をもって生活しているのですから、団体としては一つの分野であっても、個々が出会うことによってあらゆる方向に複雑につながっていくことができます。ちょうどインターネットのウェブサイトのように、一つ出会いから、街のあちこちにつながり、街の中の色々な人とつながっていけることになるのです。

このことがこの生涯学習フェスティバルの10年の歩みの中で、育ってきた大きな成果なのではないかと思います。フェスティバルを通して、出会った人と人の糸が10年の間に、入間市の中に張り巡らされてきているのではないのでしょうか？

「出会う、つながる、広がる」これは、第9回のフェスティバルの合言葉だったと記憶しています。この出会いから始まる市民のつながりが更に増え、いっそう広がっていくことこそが、生涯学習フェスティバルの目指すことなのだと思います。今後も、もっともっと人と人が出会い、つながっていく中で、自分発信の元気な人たちの力が束ねられ、入間市の大きな力になって行くのではないかと思います。

「生涯学習」をキーワードに多くの人が出会い、つながり、お互いに学びあい、新しい課題に向かっていく、これが「生涯学習を通したまちづくり」なのだと思います。第11回目のフェスティバルはどのようなお祭りになるのでしょうか？ますます広がりつながっていけることを願っています。

私にとっての生涯学習フェスティバル

生涯学習をすすめる市民の会 山増智子

私が、初めて生涯学習に出会ったのは市民の会の事務局の仕事の手伝いをしたときでした。はじめは事務的に仕事をこなしていましたが、サークル・教室情報紙の「学びの場」の編集を担当して、市内にたくさんいろいろな教室があるのを知り、入間市民の元気を大いに感じました。

フェスティバルでは、様々な市民の方々や市の職員の方々など、普段の生活をしていたら出会えないような人たちとの出会いがありました。9回、10回と実行委員に関わりましたが、テーマや目的を丁寧に市民も行政もいっしょになって話し合い、すごく民主的な作り方をしていると感じました。これはきっと10回までのなかで紆余曲折があつてのことだと思います。また作り上げている中で人の持つ力が生み出すパワーを肌で感じることができました。

フェスティバルはたった一日ですが、この数年、その一日に向けて各々の企画を運営していく中できちんと自分たちに向き合うことができ、他団体等とネットワークを結ぶこともできました。しかしこのように意識を持ち問題提起をして、市民と行政がうわべだけでなく、夢を語り少しでも夢を実現することが、住みやすいまちになっていくのかなと思いました。

祝！いるま生涯学習フェスティバル10周年

中央公民館 関谷佳代子

生涯学習フェスティバルって何？というのが、当時環境課にいた私の気持ちでした。その存在も知らなかったし、環境課として参加してほしいと言われたとき、何で環境課が生涯学習なのかな～という気持ちもありました。ちょうど環境基本計画を策定中で、計画の宣伝になるなら何でもやるという気になっていたので、好都合ではありましたが。そんな私が中央公民館へ異動して、まさかフェスティバルの実行委員になるなんて、その時はまったく考えもしませんでした。第9回、第10回と公民館からの実行委員として最初から最後までどっぷりとフェスティバルに漬かり込むなんて・・・。

環境課にいた時は、「かんきょう井戸端会議」と題して、市民と行政が入間市の環境について語り合うという企画をしました。当日は、和室に座布団を丸く並べ参加者を待ちました。集まるかどうか心配していましたが、環境問題に興味を持つ大学生や主婦の方など10人くらいが集まってくれました。誰も来ないかと不安があったので感激です。

実行委員になっても、環境課時代の未練を引きずっていたのか自己紹介の時にエコフェスティバルやりたいなんて言っちゃいました。環境に優しい容器の使用や割箸の回収など、いろいろ参加団体の方々をお願い事をしましたが、うまくいったのも同じ考えを持った実行委員の方がいたお陰です。皆さんの熱意！これが基本なんですよね。自分がやりたいと思って学び、実践すること、これすべて生涯学習なんだなと今なら実感できます。実行委員という立場とはいえ、自分も生涯学習ちゃんとやってるじゃん、とひとり満足しているこの頃です。

生涯学習フェスティバルについて思うこと

高齢者福祉課 鳥山 政之

実を言うと生涯学習って言葉、あんまり好きじゃない。そもそも学習という言葉にそれほど興味が無いし、生涯を通じて学習しなきゃいけないと思うと、それだけで気が重くなる。これって学校教育中心の日本の教育行政の弊害かなとも感じるけど、かといって振り返ってみると決して学校が嫌いだったわけでもない。でも、学習という言葉を知ると、なんとなくお腹の下の方がずんずんと重くなるような感じになるのは、きっと私だけじゃないと思うんだ。

少し前の生涯学習フェスティバルのキャッチフレーズに「学ぶこと＝生きること」というのがあったけど、学習って本当はそういうことじゃないかと思うんだよね。私たちはいつもどこかで、自分の生きる意味を探してるんじゃないかな。そう考えると自分の生きる意味を探す行為が、まさに学ぶことなんじゃないかって思い当たるんだ。だから、「学ぶこと」はある意味「生きること」と等しい行為だと思うし、そういう風に人生を生きるってことも必要なんじゃないかって思えるんだ。自分もそうだったけど、誰でも子供の頃って「どうして勉強しなきゃいけないの？」って不思議に思うことがあるよね。でも、生涯学習が「生きる意味を知るために学び続ける」ことだとしたら、その謎にはある意味、「答え」が出せるような気がするな。難しい説明は上手く出来ないけど、学校の勉強ってのは、生涯学習の最初の入り口で、その後もずっと続く「学び」のための基礎的な力を習得する場なんじゃないかってね。

ところで、「学ぶこと」がイコール「生きること」なんだとしても、それをフェスティバルにする意味ってのは何なのかな。これもまたキャッチフレーズの一つに、「出会う、つながる、ひろがる」ってのがあったけど、「三人よれば文殊の知恵」ってことわざのように、一人では見出せないこともたくさんの人との交流の中から得られるって事も確かにあるよね。第一、一人っきりの学びの世界ってのは、何か考えただけで苦しそうだよね。修行僧じゃあるまいし、そこまでストイックにならなくたっていいんじゃないって思っちゃう。どうせ、一生続いたら、仲間をたくさん作ったり、ライバルを見つけたり、とにかく外からの刺激がなきゃ、なかなか続けられないよね。だから、たまには集まって、みんなで何かをやるってのもいいんじゃないかな。

あんまり難しく考えず、自分のためにいつもと違う何かを、他の誰かと一緒にやってみる。得るものがあればそれに越したことはないし、もし何も得られなかったとしても今度は違うことにトライすればいい。生涯学習フェスティバルはそんな場であっていいんじゃないかな。参加して刺激を受ける場所、いろんなことを試せる場所、そして、考えるためのヒントを探す場所、生涯学習フェスティバルがそんなふうなものであるならこの先も続けていっていいような気がするんだけどね。

Ⅱ データ編

～フェスティバル10年の記録～

1. フェスティバルの概要10年史
2. クローズアップ
3. フェスティバル実行委員一覧
4. フェスティバル参加団体・個人一覧
5. フェスティバル協賛者・企業一覧

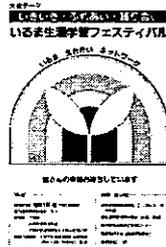
【データ編について】

- ・ 「データ編」は、いま生涯学習フェスティバルの10回分の概要について、現在保存されている書類等から抜粋しまとめたものです。欠落や修正箇所等がある場合は、何とぞご了承ください。
- ・ データ中の所属や肩書は、フェスティバル開催当時のものです。
- ・ データ編の中で、「1. フェスティバルの概要10年史」の「この回の特徴」と「この年のトピックス」、「2. クローズアップ」の記事は、編集を担当した10周年部会で執筆しました。



第1回いるま生涯学習フェスティバル

平成7年(1995)10月1日(日)
産業文化センター
テーマ「いきいき・ふれあい・語り合い」
実行委員21名(市民)
参加団体・個人52



【主な内容】

- 生涯学習推進標語・シンボルマーク原案発表、表彰



▲発表・表彰風景

- 交流広場

- ・情報・作品展示
 - 陶芸・紙絵・洋裁・籐編み・紙粘土・パッチワークキルト・写真・短歌・水墨画・茶道・体操・舞踊・ジャズダンス・ジョギング・ハイキング・ボランティア・子ども文庫・福祉・国際交流 他
- ・コンピュータによる生涯学習適性判断
- ・軽飲食コーナー

- 生涯学習活動のステージ発表

- ・新久はやし保存会
「伝統文化の継承と世代間交流」
- ・ゲラゲラクラブ
「地域の中の子どもの遊びと育ち」
- ・長岡洋子&ティータイムコーラス
「みんなのうたで仲間づくり」

【この回の特徴】

記念すべき第1回目は、この年に発足した「入間市生涯学習をすすめる市民の会」が中心となり企画・運営。推進標語やシンボルマークを市民に公募し、発表するなど、まずは「生涯学習」のPRに重きをおいた内容で、若干行政のイベントの色合いが残る。しかし、参加団体には、文化・スポーツに加えてボランティアや地域活動など幅広い分野の市民活動が参加し、現在の実行委員の母体となる団体が多数参加している。

【この年のトピックス】

- ・阪神・淡路大震災
- ・地下鉄サリン事件
- ・第1回薪能、太鼓セッション(市)
- ・平和都市宣言(市)

〔思い出のアルバム〕



▲ステージ発表風景



▲展示・交流風景



▲10年前の実行委員の皆さん。熱い思いで、キラキラしています?!

第2回 いるま生涯学習フェスティバル

平成8年(1996)

11月30日(土)・12月1日(日)

産業文化センター、児童センター

テーマ「学ぶ楽しさ、伝えるよろこび」

実行委員21名(市民)

参加団体・個人47



〔主な内容〕

○シンポジウム「生涯学習で自分づくり、まちづくり」

・コーディネーター 山本和人氏
(東京家政大学助教授)

・パネリスト
西沢しのぶ氏

(入間市民混声合唱段代表)

松永輝義氏(入間市生涯学習をすすめる市民の会会長)

木下 博氏(入間市長)

○生涯学習活動のステージ発表

大正琴・マジック・日本舞踊・新舞踊・カラオケ・アコーディオン・コーラス・社交ダンス・ミュージカル・朗読 他

○各種団体の展示発表

編み物・紙絵・写真・生け花・アレンジメントフラワー・茶道・子どもの美術・音楽療法・布芝居・組み木・超精密紙飛行機・伝承遊び・子ども文庫・おはなし・ミニSL・スクエアダンス・特産品紹介・インターネット・福祉・地域活動・パソコンによる生涯生活設計づくり 他

○いるま職人街

竹細工・和菓子作り

○一生懸名人

うどん・そば・寿司・茶まんじゅう・竹とんぼ・ヤジロベエ・まな板・模型飛行機・木彫り・紙芝居・こままわし

〔この回の特徴〕

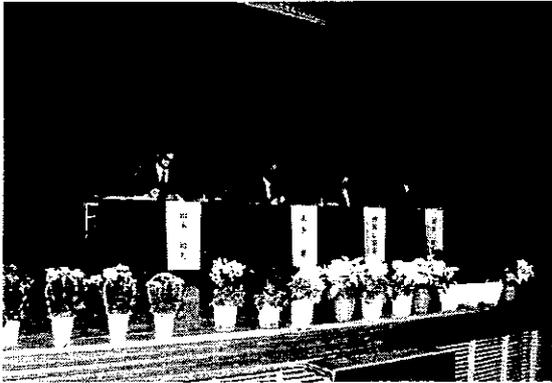
現在も関係者の中で語り継がれる2日間をかけたフェスティバル。ポスターは以降恒例となる増岡達也さんデザイン、キャッチコピーのものに変わり、ぐっと市民の手作り感が出てきた。会場は児童センターを加え、子どもを対象にした催しが増加した。

「いるま職人街」や「一生懸名人」など、個人の技能や活動を披露する場も設け、催しのネーミングにも工夫がみられる。

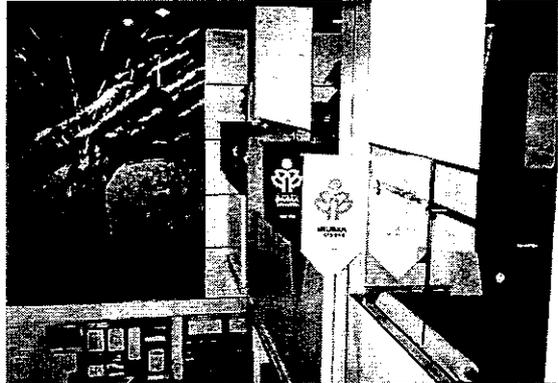
〔この年のトピックス〕

- ・ アトランタオリンピック
- ・ O-157の流行
- ・ 第一次生涯学習推進計画策定(市)
- ・ 総合クリーンセンター開始(市)

【思い出のアルバム】



▲シンポジウム風景



▲フェスティバル会場を彩るオリジナルのフラッグ



▲ステージ発表風景



▲一生懸名人（和菓子作り）



▲児童センターでの子ども向けの催し

第3回 いるま生涯学習フェスティバル

平成9年(1997)

12月7日(日)

産業文化センター、児童センター

テーマ「暮らしの中の生涯学習」

実行委員19名(市民・行政)

参加団体・個人65



【主な内容】

- 記念講演会「暮らし・経済・生涯学習」
講演 水城武彦氏 (NHK 解説委員)
- 公開ディスカッション
「入間の生涯学習の未来を語ろう」
- 映画「未完の対局」上映
- ステージ発表
「IRUMA ここから」合唱・朗読・創作
曲・創作舞踊・新舞踊・三味線・親
業訓練紹介 他
- 展示コーナー
市内生涯学習施設・入間市の自然・
私たちの広報誌自慢
- やってみませんか? 手作りの楽しさ
しめ縄・ドライハーブとパンのクリス
マスリース・篆刻・リサイクル石鹸・
リサイクル手芸・洗剤のいらぬアクリ
ル食器洗い 等
- いっしょに作っていっしょに遊ぼう
もちつき・おもちゃづくり・超精密紙
飛行機・消防はしご車試乗・ミニS
L・組み木・布芝居・おはなし・音楽
療法 他
- ✓ 環境にやさしいゴミ分別コンテスト
- 生涯学習情報交換コーナー
- コンピュータともっとなかよく
年賀状作り・あなたを診断・インタ
ーネット散歩
- カフェ「はなみずき」・和風茶処「喫
茶去(きっさこ)」
お茶を食べよう・地ビール試飲 他
- 記念誌「かがやく Special」発行 他

【この回の特徴】

実行委員に社会教育施設や文化施設の職員が加わり、市民と行政職員で組織される実行委員会の基礎ができた。サークルによる映画上映や環境・リサイクル分野の団体の参加等、参加者の広がりや事業の多彩さが感じられ、催しも会場や分野を意識して整理されてきた。また、当日参加はしていないが、生涯学習活動への個人の思いをまとめた記念誌を発行した。

【この年のトピックス】

- ・ 長野新幹線・秋田新幹線開通
- ・ ダイアナ元英皇太子妃事故死
- ・ 入間市観光協会設立(市)
- ・ FM いるま開局(市)
- ・ ていーろーど運行(市)

【思い出のアルバム】



▲講演風景



▲会場装飾にも工夫が…公開ディスカッション



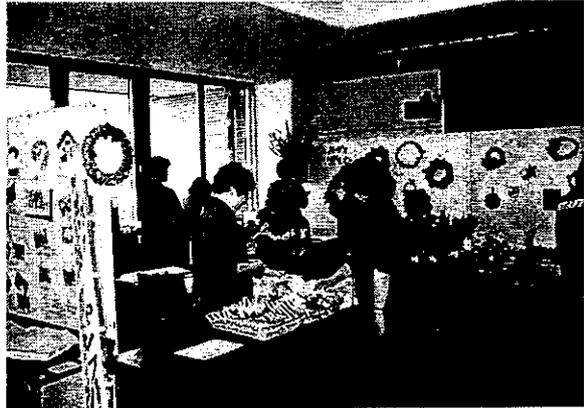
▲広報誌自慢コーナー



▲大盛況のしめ縄体験



▲親子でもちつき



▲展示発表風景

第4回 いるま生涯学習フェスティバル

平成10年(1998)

12月6日(日)

産業文化センター、児童センター、
図書館、彩の森入間公園

テーマ「共生」

実行委員18名(市民・行政)

参加団体・個人54



第4回 いるま生涯学習フェスティバル

〔主な内容〕

- 島筒英夫ピアノコンサート&トーク
「いつでも友と音楽と」
- 公開ディスカッション「家庭、学校、
地域の連携」
- 公開ディスカッション「夢のまちづく
り」
- ミニ講演会「女と男のパートナーシッ
プ～さまざまな家族の中で～」
講師 蓼沼康子氏
(城西大学女子短期大学助教授)
- ミニ講演会「ぼけても普通に生きられ
る」
講師 堀越栄子氏
(日本女子大学家政学部助教授)
- √○ かんきょう井戸端会議
- 手作りの楽しさ発見! 実演・展示・即
売
ガーデニング・皮クラフト・リフォー
ム・しめ縄・廃油石鹸・写真 他
- コンピュータともとなかよく
インターネット体験・テレビ電話・
年賀状作り 他
- 子どもの本の楽しい世界
- 絵手紙展
- 誰にでもできる軽スポーツ
ユニカール・シャフルボード・ダーツ
- ミニオリエンテーリング
- 親子でいっしょに遊ぼう
布芝居、もちつき・おもちゃ作り 他
- 映画「裸の大將放浪記」上映
- 私たちの広報紙自慢
- 記念誌「かがやく Special2号」発行

〔この回の特徴〕

島筒ファンの市民によるピアノコンサ
ートや講演会、ディスカッションなど、
展示発表だけではない、参加団体や関係
課の企画運営による催しがみられるよう
になった。また、教育、男女共生、福祉
といった現代的な課題を意識して取り上
げた。新たにスポーツ体験が加わり、会
場が更に広がった。

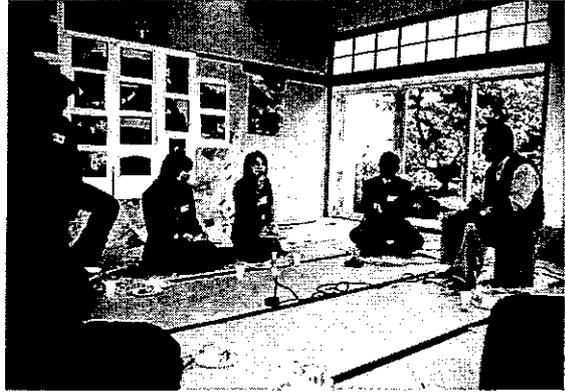
〔この年のトピックス〕

- ・ 長野オリンピック
- ・ 宇多田ヒカル日本デビュー
- ・ 加治丘陵さとやま計画(市)
- ・ 環境基本条例(市)
- ・ 市公式ホームページ開設(市)

[思い出のアルバム]



▲盲目のピアニスト・島筒さんの感動のステージ



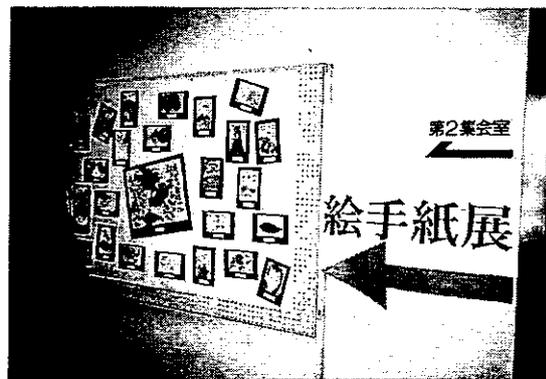
▲公開ディスカッション風景

ミニ講演会

『女(ひと)と男(ひと)とのパートナーシップ
～さまざまな家族の中で～
講師 菅沼康子氏 (関西大学女子短期大学部助教授)



▲男女共生の講演会



▲市内愛好者の作品が大集合！絵手紙展



▲公園会場への誘導のため設置された
ミニオリエンテーリング受付テント

第5回 いるま生涯学習フェスティバル

平成11年(1999)

12月5日(日)

産業文化センター、児童センター、
図書館、彩の森入間公園

テーマ「協働」

実行委員18名(市民・行政)

参加団体・個人73

〔主な内容〕

- 公開ディスカッション「子どもの居場所を考える」
- 公開ディスカッション「あなたが住みたい夢のまち」
- ミニ講演会「すべての人が豊かで元気であるために」
講師 山崎泰広氏(バルセロナパラリンピック平泳ぎ入賞)
- ミニ講演会「地球にやさしい暮らしをするために」
講師 吉村七郎氏
(千葉大学教育学部講師)
- ✓ ○ かんきょう井戸端会議
- 入間市の「協働」実践団体コーナー
- ステージイベント
手話コーラス・童謡・民謡・大正琴・三曲演奏・オカリナ・ハーモニカ・フラダンス
- 見てみよう!体験しよう!
陶芸・ちぎり絵・トールペイント・ラジオ製作・写真・古切手貼り絵・洋式毛ばり・ガーデニング 他
- 大人も読みたい絵本コーナー
- プラネタリウム特別上映



- 親子でいっしょに!
おもちゃ作り・科学実験・読み聞かせ・リレーコンサート・起震車体験・布芝居・音楽療法・ミニSL 他
- 外で元気に!
トレイルオリエンテーリング・軽スポーツ
- 記念誌「かがやく Special 3号」発行

〔この回の特徴〕

「協働」という言葉が現在のように頻繁には使用されていなかった当時、いち早くテーマに起用し、フェスティバルの重要な視点として位置づけた事はかなり先駆的だったと思う。また、オープニングでは参加団体が舞台上で「協働リレースピーチ」を行ったが、最初に関係者を全員紹介するオープニングの形式は、この回から始まった。

〔この年のトピックス〕

- ・ 「だんご三兄弟」ヒット
- ・ リサイクルプラザ開館(市)
- ・ 障害者福祉計画(市)
- ・ 生涯学習茶の都出前講座開始(市)
- ・ 「いるま学びの場」発行(市)

【思い出のアルバム】



▲参加団体が集結！「協働リレースピーチ」



▲市長も参加。公開ディスカッション風景



▲高校生による手話コーラス



▲創作パンも販売

第6回 いるま生涯学習フェスティバル

平成12年(2000)

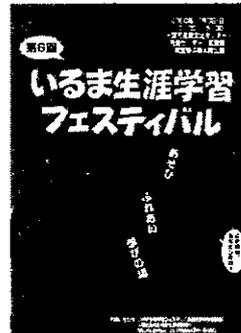
12月3日(日)

産業文化センター、児童センター、
図書館、彩の森入間公園

「あそび、ふれあい、学びの場」

実行委員24名(市民・行政)

参加団体・個人48



【主な内容】

- オープニング「音楽と映像でよみがえる20世紀・そして故郷いるま」
- 住民参加による福祉のまちづくり
映画「問題はこれからです」+
フリートーク
介護保険展示・相談コーナーも。
- ミニ講演会
「インターネットってなあに? インター
ネットで広がる生涯学習の世界」
講師 平沢茂氏(文教大学教授)
- 公開ディスカッション
「世代を超えて話そう! 人はどこで誰
から学ぶか」
- 「学びの場」へ出かけませんか
サークル・教室けいじばん
市内ギャラリー・工場見学マップ 他
- 見てみよう! 体験しよう!
植物画・絵手紙・手編み・接写写真・
パッチワーク・紙粘土人形・籐工芸・
インターネット・福祉ボランティア・
男女共生・国際交流 他
- 大人も子どもも一緒にあそぼう!
むかしの遊び・木のコースター作り・

布芝居・エプロンシアター・組み木・
ミニSL・ロープワーク・はしご車

○外で元気に!

ミニオリエンテーリング・トレイルオ
リエンテーリング

○きみは「やまぼと号」を見たか!

○入間クイズラリー 他

【この回の特徴】

20世紀最後のフェスティバルにふさわしく、オープニングでは人間の100年を、当時の歌や古写真、朗読などで振り返るステージを企画した。また、福祉分野の市民活動団体の企画運営による映画やフリートークは、高齢者福祉への関心を高めるための方法として、その後フェスティバルで数回行われた。

【この年のトピックス】

- ・ シドニーオリンピック
- ・ 大江戸線開通
- ・ 公共施設情報システム稼動(市)
- ・ 藤沢公民館開館(市)
- ・ 第1回さとやま探検隊実施(市)

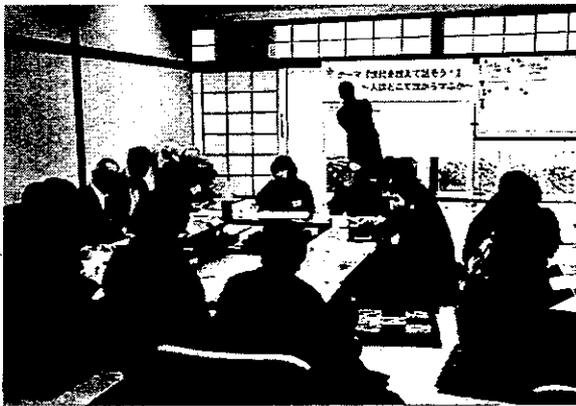
【思い出のアルバム】



▲ オープニングイベント風景
市長・教育長・市民の会会長も、昔の遊びや学びについて体験談を語りました。



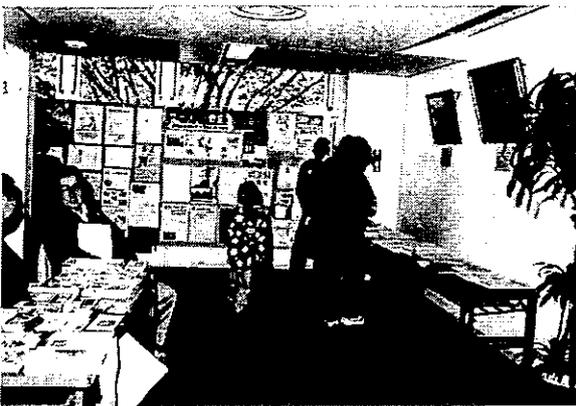
▲ミニ講演会風景



▲公開ディスカッション風景



▲和楽器の体験コーナーもありました。



▲サークル・教室けいじばん（奥）



▲公園でミニオリエンテーリング

第7回 いるま生涯学習フェスティバル

平成13年(2001)

12月2日(日)

産業文化センター、児童センター、
図書館、彩の森入間公園、豊岡中学校

「元気!やる気!活気!!」

実行委員16名(市民・行政)

参加団体・個人98



〔主な内容〕

- 元気講演
「みんなちがって、みんないい!~自分の存在が他の人の喜びにつながる~」
講師 丸山浩路氏
(NHK 手話ニュースキャスター)
- 200人の元気フラ
- 映画「老親」+フリートーク
- 公開ディスカッション
「地域で応援!学校支援ボランティアのシステムを考える」
- 公開ディスカッション
「地域に開かれた高校・大学をめざして」
- 携帯電話活用講習
- 見てみよう!体験しよう!
楽器体験・介護用品体験・古文書・写真・古布ぞうり・トールペイント・水彩画・インターネット 他
- ゴルフルール講習会
- みんなで作ろう!
ラジオ・スライム・化粧炭・お手玉
むささび焼印ペンダント 他
- リサイクル本無料進呈

- 元気な入間づくり、ただいま展開中!
男女共生・福祉・環境・子育て 他
- もっと知りたい!狭山茶のこと
お茶の入れ方指南・子ども茶会 他
- 外でわくわく体験!
ミニオリエンテーリング
パラグライダー 他

〔この回の特徴〕

市制施行35周年にあたるこの年、「元気な入間」都市宣言にちなみ、キャッチフレーズや事業名に「元気」を多用した。催しでは、学校と地域の連携といった課題に対して、関係者同士の共通認識を図り、その後につなげるためのディスカッションを行った。また、元気講演や携帯電話、ゴルフ、パラグライダー等、実行委員や参加団体の企画の多彩さが際立った。

〔この年のトピックス〕

- ・ 小泉内閣誕生
- ・ アメリカ同時多発テロ
- ・ しし座流星群
- ・ アミーゴ開館(市)
- ・ 「元気な入間」都市宣言(市)

【思い出のアルバム】



▲手話によるパフォーマンスが感動的だった丸山さんも市民サンタには大喜び！



▲オープニングでは、ステージ上で参加団体が趣向を凝らしてアピール。



▲市内フラダンスの華麗なステージ



▲名物?! ストリートライブはこの回から。



▲展示・体験コーナー



▲中庭の屋台

第 8 回 いるま生涯学習フェスティバル

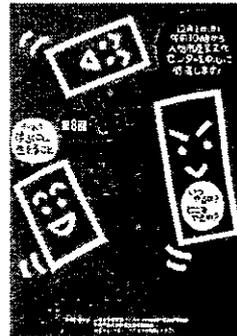
平成14年(2002)

12月1日(日)

産業文化センター、児童センター、
図書館、彩の森入間公園、豊岡中学校
テーマ「学ぶこと、生きること」

実行委員21名(市民・行政)

参加団体・個人120



〔主な内容〕

- オープニングセレモニー
和太鼓・よさこいソーラン・三味線
- 学んで輝く大先輩紹介
- 夢見る小さなバレリーナたち
- 映画「ホーム・スイートホーム」
- 公開ディスカッション「市民が考える
市民参画のまちづくり」
- 子育て講演会「生きる力を育てる」・
ディスカッション「みんなでわいわい
話そうヨ！」
講師 久保田浩氏
(白梅短期大学名誉教授)
- 学校・市民・行政の意見交換会
「市民の力を学校で生かすために」
- NPO相談コーナー
- いろいろ体験コーナー
楽器・手作り小物・デジタルカメラ・
囲碁 他
- 障害者の日記念事業
- 福祉ボランティア交流会
- ~~学んでます~~ 100%遊んでます
「わくわく彩の森」
巨大ジェンガ・缶ポックリ・大なわ 他

- 気軽にさわって! パソコンコーナー
- 知識の森へいらっしやい
- 生涯スポーツフェア
「元気な自分を再発見!!」
- 前夜祭・社交ダンスパーティー「秋の
夜会」 他

〔この回の特徴〕

従来、実行委員会や参加団体の個別企画の寄せ集めで運営してきたフェスティバルは、この回から現代的な課題等をふまえて分野を整理し、団体同士の「合同企画」による催しが行われるようになった。これは団体や職員同士の連携、協働を促進するための事業として、以降のフェスティバルの方向性を示すものとなった。また、実行委員会の行政職員が教育委員会のみでなく、市長部局からも選出されるようになった。

〔この年のトピックス〕

- ・ サッカーワールドカップ開催
- ・ 田中耕一氏他ノーベル賞受賞
- ・ 「タマちゃん」流行?
- ・ 博物館運営ボランティア発足(市)
- ・ グリーンロッジ閉館(市)

〔思い出のアルバム〕



▲華麗！よさこいソーランのステージ



▲生涯学習活動の大先輩達は、皆さん驚くほどお元気でした。



▲大人顔負け！バレエサークルの子どもたち。



▲公開ディスカッション風景



▲校庭でパラグライダー体験も。

第9回 いるま生涯学習フェスティバル

平成15年(2003)

11月30日(日)

産業文化センター、児童センター、
図書館、彩の森入間公園、豊岡中学校、
人間向陽高校

「出会う、つながる、広がる」

実行委員44名(市民・行政)

参加団体・個人85



〔主な内容〕

- オープニング・フィナーレイベント
- 音楽とダンスのセッション
ヒップホップダンス・和太鼓・アフリカンドラム
- 朗読劇「モモタロー・ノー・リターン」
- 楽しくフラダンス! 市内フラサークル大集合
- 小学生を持つ親のための講座「子どもとのパートナーシップを考えよう」
※全4回講座の第1回目
- 語ろう「市民の活動からはじまるまちづくり」
- 市民のいるま塾公開講座・パネルディスカッション
「充実した中高年の生きがいづくり」
- おいでよ! 0・1・2才まつり
ハイハイ競争・スキンシップ体操他
- 120%遊んでます! わくわく彩の森布とんねる・皿回し・スライム 他
- ✓ 21世紀型エコフェスティバル
ごみ分別クイズ 他
- 支えあって感じあって～福祉コーナー～
障害者の日記念事業・点字・絵手紙 他

- パソコンで交流!!
- 見て! 触れて! 作って! いろいろ体験
楽器・アロマセラピー・手織り 他
- 市民活動・ボランティアきっかけコーナー
- 生涯スポーツフェア
- 屋外ライブ&体験 他

〔この回の特徴〕

前回の合同企画でもとに取組んだ各分野の団体や関係課が実行委員に加わり、組織はこれまでにない大所帯となった。当初は共通認識を図るために数回の会議を要したが、催しの企画から運営全般を一緒に行なったことにより、互いへの理解や連帯感が一層強まったように思う。各分野の催しは該当する分野の実行委員が中心となり、主に合同企画形式で行った。また、この回から、中庭でフィナーレイベントが行われるようになった。

〔この年のトピックス〕

- ・ 「マニフェスト」
- ・ イラク戦争開始
- ・ 健康福祉センター開館(市)
- ・ 入間市男女共同参画都市宣言(市)

【思い出のアルバム】



▲若さはじける入間向陽高校のソングリーディング公演



▲市民のいるま塾公開講座風景



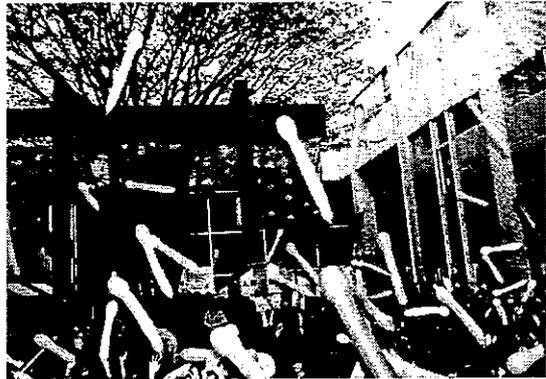
▲お母さんのところに行けるかな？
0・1・2才まつりのハイハイ競争



▲記録に挑戦！生涯スポーツフェアの「チャレンジ・ザ・ゲーム」



▲展示・体験コーナー



▲色とりどりのロケット風船が印象的だった感動のフィナーレ。

第10回いるま生涯学習フェスティバル

平成16年(2004)

11月28日(日)

産業文化センター、児童センター、
図書館、彩の森入間公園、豊岡中学校、
東町小学校

「出会い ∞ (無限大)」

実行委員48名(市民・行政)

参加団体・個人158



【主な内容】

- オープニング・フィナーレイベント
- ハーモニー・七つの夢
- 明るく、楽しく、仲良く フラダンスサークル大集合
- 「いるま生涯学習フェスティバル友にあゆんで10周年」展
- 参加団体大集合展
- 協働って何? 協働から何が生まれる? 「NPOと行政の入間市の課題を探る」
講師 庄嶋孝広氏 (NPO 法人まちづくり支援・東京ランポ職員)
- 地域の福祉と学びを考えるつどい 「ちょっと気になるこのまちの福祉」
コーディネーター 丸山啓史氏 (東京大学大学院生)
- 子育てわくわくマップ
- つくってあそぼう! にこにこランド
- ジャンボあそびまつり～むかしと今の元気あそび～
- 求ム! 学校支援ボランティア～あなたのチカラを地域の子どもたちに!
- 子どもスピーチコンテスト
- 中国語フェスティバル
- できることから始めよう、ごみ問題～生ごみリサイクル教室～
講師 大友弥生氏 (狭山生ごみ資源化をすすめる会会長)
- エコツアーin生涯学習フェスティバル
- 市民のいるま塾公開講演会・子育て支援実践講座
- 映画を作るっておもしろい!
- 夢見るバレリーナたちII
- 生涯スポーツフェア、他

【この回の特徴】

各分野の合同企画をすすめるにあたり、目標や課題等を明確にして、より有意義な連携が図れるようにした。また、フェスティバル当日までのワークショップや終了後の取り組みといった一過性ではない各分野の動きが顕著にみられた。

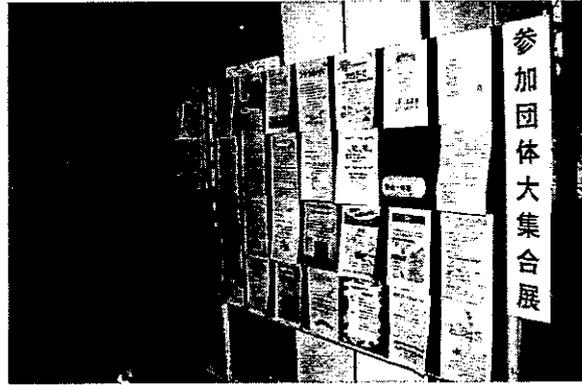
【この年のトピックス】

- ・ アテネオリンピック
- ・ 新潟県中越地震
- ・ 彩の国まごころ国体
- ・ 青少年活動センター、市民活動センター、男女共同参画推進センター開館

〔思い出のアルバム〕



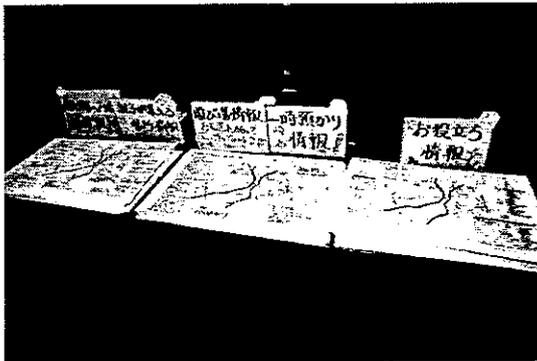
▲ オープニングでは、10 回分の名キャッチコピーの数々を振り返りました。



▲ 各団体の思い入れたっぷりのチラシが大集合！見入る人多数。



▲ 班に分かれての福祉ワークショップでは、身近な課題に熱心な議論が！



▲ スタッフの努力の賜物！子育てわくわくマップには市民ならではの情報が満載。



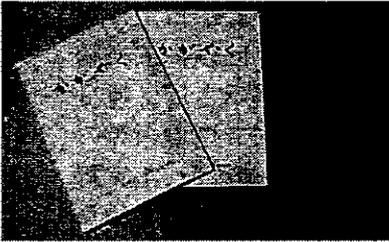
▲ これは何ゴミ？会場内の環境関係展示を楽しくまわるエコツアーも。



▲ 手作り幟がそよぎロケット風船が舞う…第10回感動のフィナーレ

クローズアップ①

記念誌「かがやく special」の発行



「かがやく special」全3冊

フェスティバルの第3回から第5回にかけて、生涯学習課で発行している情報紙「かがやく」の特集号として、記念誌「かがやく special」を製作し、会場で配布しました。これは、生涯学習活動を通して得た出会い、楽しさ、喜びを表現したエッセイを公募し、まとめたもので、会場では発表しきれない多くの個人の思いが詰まっていた。この冊子によって、生涯学習フェスティバルを知ったという方も多いのではないのでしょうか。3号のみの発行となりましたが、総勢150名の生涯学習活動が収録され、学習活動や仲間づくりが人生にとって、とても大切なものであることが文章から伝わってきます。

なお、冊子の製作費捻出のため、協賛金募集が始まり、冊子の後半には協賛いただいた企業等の紹介も掲載していました。当時からフェスティバルは、多くの賛同者によって支えられていました。

クローズアップ②

PR方法の広がり



横断幕は市民の書の作品展



万燈まつりのフェスティバルテントは親子で大賑わい!

フェスティバルは、当初は「生涯学習」の知名度が低く企画内容も多岐に渡っているため、市民への広報が大きな課題でしたが、実行委員や参加団体の広がりとともに、フェスティバルならではの様々なPRが行われるようになりました。

ポスター・チラシの表面は第2回から実行委員の増岡達也さんデザインのものに変わり、アイチャマークはフェスティバルの代名詞として定着しています。第3回から始まった「横断幕」の市内各所への掲示も、作品がまちを彩る季節の風物詩となっています。また、第7回からは万燈まつりに出店するようになり、児童センター前での風車づくりが好評を博しています。第9回以降は、団体が実行委員に加わり、各団体の持つ情報媒体で広くPRをしていただけるようになりました。第10回では遂に実行委員会ホームページを開設し、催しや団体の最新情報を常時発信できるようになりました。PR方法もまた、実行委員のアイデアや熱意によって新しい試みが行われ、着実に知名度を高めています。

クローズアップ③ フェスティバルを盛り上げる会場装飾

フェスティバルの会場は、第1回目は産業文化センターのみでしたが、団体が増え、催しが多彩になってくると、児童センター、図書館、豊岡中学校、彩の森入間公園、入間向陽高校、東町小学校と徐々に広がっていきました。会場の拡大とともに、催しの全体が来場者や道行く人に一目でわかるような工夫と各会場への誘導が課題となってきました。そこで、第7回以降、当初から使用していたフェスティバルフラッグが誘導を意識して掲示され、遠目でも見えるようなビニールシート、会場案内図を掲げたペンギン型看板等の斬新な装飾、サインが作られました。これは、当時「菱組」と呼ばれた実行委員の皆さんのアイデアと手によるもので、フェスティバル会場に視覚的な統一感が生まれ、お祭りの雰囲気盛り上げました。特にビニールシートは、茶の花や雲等の装飾が毎回変わり、工夫が凝らされています。

第10回からは、参加団体の執筆による生涯学習フェスティバル幟が設置され、各会場を賑やかに彩りました。実行委員や参加団体が全体で盛り上げるフェスティバルの運営は、会場装飾にも生かされています。



工夫が凝らされたビニールシート装飾



各会場に置かれたペンギン型看板



←会場に飾られた幟。
フィナーレを盛り上げる小道具としても使用されました。

いるま生涯学習フェスティバル実行委員一覧(順不同・敬称略)

◆フェスティバル実行委員一覧

※ ◎印は実行委員長

氏名	所属(実行委員当時)	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
秋葉 英夫	入間市生涯学習をすすめる市民の会					◎					
石川 経造	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
市川 欣伸	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
岩崎マリ子	入間市生涯学習をすすめる市民の会・ たすけあい語来里										
風間 恵美	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
鍛冶 信雄	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
川野 英明	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
栗原 良子	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
小暮 欽作	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
斉藤 昌紀	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
清水 薫	入間市生涯学習をすすめる市民の会			◎							
下野 武司	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
庄 菊博	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
杉山 若江	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
鈴木 豊士	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
関根 栄一	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
関谷 敦子	入間市生涯学習をすすめる市民の会・ どろだんごの会										
曾根 直行	入間市生涯学習をすすめる市民の会・ 入間遊び場づくり協会										
田中 伸一	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
田中 澄子	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
塚田とも子	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
中内 丈夫	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
中込 紀子	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
並本 寿敏	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
西久保夏代	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
野村 和雄	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
袴田 友久	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
長谷川正子	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
菱 千代子	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
増岡 達也	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
松崎 仁子	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
松永 輝義	入間市生涯学習をすすめる市民の会	◎	◎				◎				
松元みゆき	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
丸山 政枝	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
三浦はるみ	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
三木 清始	入間市生涯学習をすすめる市民の会				◎						
室山 茂子	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
森田美那子	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
柳橋 吉教	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
山尾 聖子	入間市生涯学習をすすめる市民の会							◎	◎	◎	◎
山増 智子	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
山本 和人	入間市生涯学習をすすめる市民の会										
篠塚 玲子	ボランティアスタッフ										
高山 優子	ボランティアスタッフ										
水村 美樹	ボランティアスタッフ										
西島 陽子	いるま介護保険わかつう会										
田口 修	NPO法人NALC埼玉西										
池田 容子	社会福祉協議会・ボランティアセンター										
西垣 寿夫	生涯学習情報紙「かがやく」編集委員会										
岡野こずえ	リサイクルプラザスタッフ										

いるま生涯学習フェスティバル実行委員一覧(順不同・敬称略)

◆フェスティバル実行委員一覧

※ ◎印は実行委員長

氏名	所属(実行委員当時)	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
昼間 達夫	金子ジュニアリーダー										
内野 郁子	市子連ジュニアリーダー										
新井 徳人	入間青年会議所JCC										
中川 隆宏	入間市青少年相談員連絡協議会										
橋本 泰孝	NPOけやの森自然塾										
岡野 亘	児童センターボランティア会										
野田あさ子	入間おやこ劇場										
小川 真澄	NPO法人NAFA子育て環境支援センター										
川之上 豊	大妻女子大学児童学科										
新井 格	いるま地域ねこの会										
岩崎 廣司	いるま塾の会										
江上 範博	NPO人づくり大学										
木崎 芳雄	入間市写真連盟										
坂本 総子	入間市花の郷福祉作業所										
田中 祥弘	入間市民謡連盟										
土橋 徳臣	PC-happy.Com										
中出ミツ枝	ペーパーテープ・クラフト教室										
畑山真由美	NPOにこにこKIDS										
山本 和希	ガールスカウト埼玉県第40団										
黒木 一夫	中央公民館										
渡辺 徹也	扇町屋公民館										
村田 好男	黒須公民館										
小笠原昌平	藤沢公民館										
亀田 一生	西武公民館										
神山 晴義	二本木公民館										
西澤 勉	児童センター										
浅見 泰志	博物館										
塚田 陽子	図書館										
塩野 広郷	振興公社										
齊木 芳夫	扇町屋公民館										
村山 泰貴	4回黒須公民館・8回図書館										
宮岡 利幸	金子公民館										
村上 一幸	宮寺公民館										
石川 勝巳	児童センター										
大石 浩士	博物館										
星 明男	図書館										
齊木 安雄	体育課										
池内 克予	振興公社										
小林さち子	西武公民館										
晝間 晴美	藤の台公民館										
佐藤 直人	児童センター										※途中変更
津久井浩一	博物館										
島崎麗比奈	図書館										
田代 正樹	体育課										
水村 章一	宮寺公民館										
木下 武彦	藤の台公民館										
小岩井康宏	図書館西武分館										
富田 浩一	体育課										
宮岡 久	中央公民館										
野口 鉄夫	二本木公民館										
北原 紀子	東金子公民館										
清水 和雄	児童センター										

いるま生涯学習フェスティバル実行委員一覧(順不同・敬称略)

◆フェスティバル実行委員一覧

※ ◎印は実行委員長

氏名	所属(実行委員当時)	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
神山 英章	図書館										
中澤 岳	企画課										
鳥山 政之	高齢者福祉課										
井上健太郎	生涯学習課										
大久保 卓	生涯学習課										
瀧澤 雅美	児童センター										
田中 浩明	久保稻荷公民館										
須田 英樹	体育課										
榎本 覚	みどりの課										
坂本 有司	自治文化課										
田雑 弘章	障害福祉課										
晝間 忠利	生涯学習課										
斉藤 祐司	生涯学習課										
山崎 町子	児童センター										
関谷佳代子	中央公民館										
千葉 茂	藤沢公民館										
丸山 友和	東金子公民館										
高井 邦俊	黒須公民館										
加藤 英一	博物館										
有馬美夕紀	図書館										
河村香代子	企画課										
西澤 保生	自治文化課										
鈴木 浩昭	障害福祉課										
小松 辰也	生涯学習課										
加藤しづ江	生涯学習課										
村田 幸子	児童センター										
神山 貴宏	青少年活動センター										
築地 延恭	高倉公民館										
萩原 智明	金子公民館										
今井 文香	二本木公民館										
喜多 美和	東藤沢公民館										
吉澤 茂久	図書館										
富田 透	体育課										

◆フェスティバル事務局職員

氏名	所属(事務局当時)	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
中島 竹正	社会教育課生涯学習推進担当										
櫻井 勝晴	社会教育課生涯学習推進担当										
諸井 和男	社会教育課生涯学習推進担当 ~ 生涯学習課生涯学習推進担当										
須田 茂	生涯学習課生涯学習推進担当										
大石 浩士	生涯学習課生涯学習推進担当										
今井 文香	生涯学習課生涯学習推進担当 ~ 生涯学習推進係										
吉川 秀夫	生涯学習課生涯学習推進担当 ~ 生涯学習推進係										
宮岡 利幸	生涯学習課生涯学習推進担当 ~ 生涯学習推進係										
芦沢 早苗	生涯学習課生涯学習推進係										

いるま生涯学習フェスティバル参加団体・個人一覧(順不同・敬称略)

※「団体・個人名」欄の網かけは行政の課・施設を表しています(行政が事務局になっている各種団体を除く)。

団体・個人名	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
紙絵ふじわ会										
藤泉会(水墨画)										
宮寺短歌会										
新久はやし保存会										
はなみずき会(コーヒー、菓子販売、民謡他)										
藤あみ愛好会										
高木久子(ミニコミ紙)										
ゲラゲラクラブ										
けやき作業所										
ハギレバスケット(パッチワークキルト)										
手芸クラブあんず										
東金子写真サークル										
ピンクッション(洋裁)										
十八番クラブ(男の料理)										
東町洋裁の会										
写友会										
ドリーム(紙粘土)										
藤の台陶芸サークル										
西武3区バレー部										
藤輪会										
子供美術クラブ										
ひばり会										
人間太鼓セッション										
あすなる作業所										
弓道女子愛好会										
フレッシュ・フレンズ(体操)										
マイ体操の会(リズム体操)										
高倉ダンス愛好会										
東金子ジョギングクラブ										
入間市歩こう会										
黎の会										
入間ジュニアジャズダンス										
松風流煎茶道										
入間おやこ劇場										
永石珠江(腹話術)										
松元みゆき(華道)										
入間市青少年相談員連絡協議会										
チビと山賊の家										
大西正利										
入間市消防団										
入間舞踊フェスティバル										
斉藤哲夫(木彫り)										
埼玉国際友好クラブ										
ヒップファミリークラブ										
入間市地区里親会										
吉田光子(茶まんじゅう)										
狭山ヶ丘高校インターアクトクラブ										
チェルノブイリの子どもたちを呼ぶ会										
入間市ボランティアセンター・入間市社会福祉協議会										
入間市手話の友の会										
入間市子ども文庫連絡会										
児童センターボランティア会(ミニSL等)										
三田美江(アレンジメントフラワー、フラワーデザイン)										
綾の会(紙絵)										
ミュージックセラピー・ポコの会・望月雅枝(音楽療法)										
プラム・ニットサロン(編み物)										
森田茂(模型飛行機)										
大正琴の会「ベガ」										
神山真由美(新舞踊)										
田辺麻衣子(新舞踊)										
ひかりプレイ(伝承遊び)										
宮寺マジック研究会										
塩屋富士子(スクエア・ダンス)										

いるま生涯学習フェスティバル参加団体・個人一覧(順不同・敬称略)

※「団体・個人名」欄の網かけは行政の課・施設を表しています(行政が事務局になっている各種団体を除く)。

団体・個人名	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
丸山豊 他(創作舞踊)										
入間オリジナルミュージカル制作委員会										
児童合唱団レインボー(コーラスによる音楽劇)										
むさし野会(障害克服・カラオケ)										
入間六ツ星会(点字)・ルイブライユ										
児童センターボランティア「おはなしいすき」										
朗読ボランティアグループ「はづき」										
入間市シルバー人材センター										
山城功(こままわし)										
入間市社交ダンス連合会										
大久保国夫(竹細工)										
入間遊び場づくり教会										
中島茂(ペーゴマ、紙飛行機)										
(株)花茶樹(手作りお菓子)										
宮寺アコーディオンサークル										
NTT埼玉(後に所沢)支店(インターネット体験)										
佐藤大助(紙芝居)										
大妻女子大ボランティアサークル「アイリス」										
授産施設 大樹(食品販売)										
どんぐり(おはなし)										
高橋明義(超精密紙飛行機)										
阿部秀勝(うどん・そば作り)										
清寿会(民踊)										
中山睦夫(まな板、竹とんぼ作り等)										
煎茶あげは										
西野昭三(しめなわ作り)										
環境課										
入間市食生活改善推進員協議会										
サニースポット(ガーデニング)										
アースディ'97入間実行委員会										
喫茶去の会(煎茶、茶を使った菓子販売)										
岡野平八(茶料理)										
石川かおる(アイデア料理)										
パソナコン塾入間市駅前教室										
日本生命所沢支社(ライフプラン診断)										
城西大学・県貯蓄推進委員会(生活設計相談)										
入間市消防本部(消火シュミレーション他)										
どろんこの会										
生け花研究会(クリスマスリース)										
パンフルート(パンのクリスマスリース他)										
女子栄養大学献立研究会(茶を使った菓子販売)										
増岡園(食べる茶販売他)										
よもぎの会(廃油石鹸他)										
入間篆刻クラブ										
藤の台公民館編み物サークル(アクリルたわし)										
東町陶芸サークル										
長澤一彦(有機野菜による漬物)										
金子ジュニアリーダー(もちつき)										
金子おやじの会(もちつき他)										
三木清始(イカ飛行機滞空時間コンテスト)										
加藤稲造(廃材利用のおもちゃづくり)										
森仲の会・稲仲の会(もちつき)／榎の会										
IRUMAここからを歌う会										
P.E.T.勉強の会(親業訓練紹介)										
木村チマ(創作曲・舞踊)										
桜井千代子(創作舞踊)										
玉木次男(藤本流三味線)										
岡村峯子(新舞踊)										
入間市童謡連盟										
勝山誉朗(広報紙自慢)										
PTA広報部(広報紙自慢)										
ペアーレ入間										
駿河台大学										

いるま生涯学習フェスティバル参加団体・個人一覧(順不同・敬称略)

※「団体・個人名」欄の網かけは行政の課・施設を表しています(行政が事務局になっている各種団体を除く)。

団体・個人名	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
みどりの課										
NTTプリンテック										
公民館										
振興公社										
県立入間青年の家										
児童センター										
図書館										
博物館										
学校教育課										
里親会										
いるま映画愛好会(映画上映他)										
cotton garden 節										
中室佳子(環境と食生活)										
ロマラン										
皮革工芸研究会										
シグマ光機										
黒須中学校PTA										
澤田富子(有機野菜のタルト等販売)										
岩崎きよ子(お茶入りクッキー販売)										
入間市観光協会(商工課)										
男女共生セミナースタッフ(企画課)										
広報広聴課										
ガールスカウト埼玉第40団										
ドロシーズ										
入間市オリエンテーリングクラブ										
清掃課										
ACTY(アクティ)										
ドイト入間店(ガーデニング)										
鳥筒さんと呼ぶ会										
豊岡中学校吹奏学部										
オレンジペコ										
入間ケーブルテレビ										
FMいるま(茶笛)										
入間市民謡連盟										
入間市三曲連盟										
オカリナサークル「こだま」										
ハーモニカサークル「アンサンブル ウィスタリア」										
プアラニ・フラ・セイブ(フラダンス)										
東アロハフラサークル(フラダンス)										
フラダンス同好会(フラダンス)										
ドウザフラ 東藤沢(フラダンス)										
フラダンス レファ(フラダンス)										
フラ藤の台(フラダンス)										
ブルメリア(フラダンス)										
フラダンス ルアナ(フラダンス)										
ティアレ フジサワ(フラダンス)										
ビューティー くるす(フラダンス)										
フラ プアナニ										
マリノフラサークル										
みどり会フラサークル										
フラブアリア										
睦会フラサークル										
フラ・クボイナリ										
ハワイアンフラ アンスリウム										
ハワイアンフラ ジンジャー										
ハワイアンフラ リリー										
フラ ククイ										
フラ リリーズ										
フラブルメリアセイブ										
入間フラサークル										
埼玉骨髄バンク推進連絡会										
児童センター無線クラブ										
垂見桑明(古切手貼り絵)										

いるま生涯学習フェスティバル参加団体・個人一覧(順不同・敬称略)

※「団体・個人名」欄の網かけは行政の課・施設を表しています(行政が事務局になっている各種団体を除く)。

団体・個人名	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
トールペインティングサークル										
あまりりす(トールペイント)										
睦月の会(ちぎり絵)										
埼玉県貯蓄広報委員会										
東野高校										
大妻女子大学										
東京家政大学										
城西大学/城西大学経済学部										
木曜毛針会										
写真サークル										
健康生きがいアドバイザー										
公開講座日高ライプリーカレッジ企画運営委員会										
入間市国際交流協会(自治文化課)										
入間市環境審議会										
入間ライオンズクラブ										
クリーンドライバーズクラブ										
埼玉県生態系保護協会入間支部										
年とらず川清流を守る会										
生活クラブ生活協同組合入間支部										
入間市生涯学習をすすめる市民の会										
キノシタ楽器ヤマハ音楽センター										
戸水加津子(科学実験)										
児童センター天文クラブ										
陶芸サークル「喜一窯」										
いるま介護保険わかつう会・さいたま介護保険サポーターズクラブ										
キッズアートクラブ										
みずゑの会(絵手紙)										
ペゴニア会(植物画)										
入間市写真連盟										
東町公民館バッチワークの会										
紙粘土人形 ラ・パンポーラ										
籐編み同好会										
籐あみクラブ										
東美会(手編み)										
初心舎(書)										
ユニバーサルOAスクール										
友愛会(通信活動)										
グループ共生ハーモニー入間										
遠藤一幸(組み木)										
児童センターフリーイベントボランティア										
秋元光次(竹とんぼ、紙飛行機)										
けやの森学園リトルキッズ										
霧原ゴルフガーデン										
鈴木メソッドバイオリン教室										
埼玉西ヤクルト販売										
武蔵野音楽大学										
武蔵野短期大学										
体育課										
勤労者福祉サービスセンター(商工課)										
「元気な入間」都市宣言実行委員会(企画課)										
障害福祉課										
扇塚在宅介護支援センター										
入間市花の郷福祉作業所										
入間市運転ボランティア「車友」										
入間青年会議所										
入間青年会議所JCC										
生涯学習情報紙「かがやく」編集委員会										
入間ジャズクラブ										
地域通貨研究会/地域ふれあい通貨元気運営委員会										
入間市環境まちづくり会議										
IMC入間ミュージックサークル										
黒須・高倉ジュニアリーダー										

いるま生涯学習フェスティバル参加団体・個人一覧(順不同・敬称略)

※「団体・個人名」欄の網かけは行政の課・施設を表しています(行政が事務局になっている各種団体を除く)。

団体・個人名	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
NPOけやの森自然塾										
こどもワークショップ「遊」										
児童センターじゆう伝承ボランティア										
入間「ひばり」児童合唱団										
子どもミュージカル劇団にこつとちや茶										
森田節子(しめ縄づくり)										
入間市パラグライダー愛好会										
プスパ・ラトナ										
バトンエンジェルス(バトントワリング)										
折り紙サークル										
押し花の会										
琴朋会(大正琴)										
入間古文書の会										
ミュージックベルすずらん										
映画「老親」上映実行委員会										
日本茶インストラクター										
入間市茶道連盟										
おまっ茶クラブ(東金子公民館)										
たけのこ会・ちびっ子茶道教室(藤沢公民館)										
さくらんぼの会(久保稲荷公民館)										
水村園製茶所(茶販売等)										
狭山ヶ丘高枝										
情報システム課										
入間市視覚障害者ガイドヘルプの会「あいあい」										
デイケア施設 あすなろ										
入間市身体障害者福祉会										
入間市肢体不自由児(者)父母の会										
入間市手をつなぐ親の会										
創和ユニット										
UⅡショップさきわい										
虹の里										
お茶飲めんの会										
えくぼ 高齢者の保健福祉を考える会										
(社)呆け老人をかかえる家族の会埼玉県支部										
くすみ・いるま在宅看護を充実させる会										
QOL向上研究会										
入間会										
保健センターリハビリOB会										
入間サポートセンターひまわり										
たすけあい語来里										
リサイクルプラザリサイクル研究室										
自己実現および生きがい人生実現支援教育センター										
ひまわり畑										
NPO元気なまちづくりネット										
入間サポートセンターひまわり										
つばさの会										
入間市博物館運営ボランティア アリット茶の花会										
グリーンティージャズフェスティバル実行委員会										
市子連ジュニアリーダー										
どろだんごの会										
ラボ教育センター 西武地区										
入間市茶業協会										
入間茶みどり会										
日本茶アドバイザー										
茶友倶楽部(台湾の茶等)										
県農林総合研究センター特産支所										
入間パソコンを楽しむ会										
入間太鼓										
田中律子・裕子バレエスクール										
トゥインクル クラシックバレエ										
プチ・アンジェ(バレエ)										
アンダンテ(バレエ)										
ドリームバレエスタジオ										

いるま生涯学習フェスティバル参加団体・個人一覧(順不同・敬称略)

※「団体・個人名」欄の網かけは行政の課・施設を表しています(行政が事務局になっている各種団体を除く)。

団 体 ・ 個 人 名	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
コンノアートスクール(バレエ)										
岡野バレエ学園										
スワン・バレエ・アートスクール										
市民音楽祭実行委員会										
児童合唱団さくら草										
入間ひばり児童合唱団										
入間市中央少年少女合唱団										
ミュージックサークルレインボー										
林田種雄(木彫り、三味線)										
ペーパーテープ・クラフト教室										
ペアーレ入間気功太極拳教室有志										
彩の森入間公園 気功太極拳の会										
獅子内明子(裂き織り)										
駿河台大学ボランティアグループ「スターチス」										
NPO法人NALC埼玉西										
オリオン(障害者対象手織り)										
社会福祉法人 創和										
どんぐりクラブ(環境省こどもエコクラブ)										
さいたまNPOセンター										
いるま地域ねこの会										
NPO法人 人づくり大学										
NPO法人 NAFA子育て環境支援センター										
大妻女子大学児童学科										
テレブシコーレIRUMA/テレブシコーレ・コンサート										
児童センターソーイング教室										
児童センター手づくりおもちゃ教室										
児童センター絵画教室										
健康福祉センター										
PCSV										
PC-happy.Com										
Step up(ヒップホップダンス)										
Rhythmix/リズムミックス(アフリカドラム)										
入間向陽高校ソングリーダー部										
千葉浩美(トーンチャイム、ドレミパイプ)										
入間模型同好会										
水引工芸「彩り」										
セミスィート(カントリークラフト)										
オリケアクラブ(アロマセラピー)										
韓国語を楽しむ会										
佐川ナーマ(スリランカ文化紹介)										
ウチクラ チャットロン(タイ料理等)										
入間太極拳クラブ										
郵便局										
自由の森学園										
西武文理大学										
武蔵野学院大学										
映画文化を考える市民会議										
ユナイテッド・シネマ入間										
シネマタウン推進準備委員会										
まどもあぜる(手作りお菓子販売)										
星 勇(環境保全活動)										
環境ネットワーク市民の会										
入間川ピオトーブネットワーク研究会										
工房アルビレオ										
532クラブ(環境省こどもエコクラブ)										
不老川流域川づくり市民の会										
霞川をきれいにする会										
ヤマガラくらぶ										
加治丘陵ツツジを植え戻す会										
NPO法人 親子学(親と子の心と心を結ぶ絆づくりの会)										
NPO法人 にこにこKIDS										
入間市生涯学習をすすめる市民の会市民活動連絡会議										
入間市生涯学習をすすめる市民の会講座開設部会										

いるま生涯学習フェスティバル参加団体・個人一覧(順不同・敬称略)

※「団体・個人名」欄の網かけは行政の課・施設を表しています(行政が事務局になっている各種団体を除く)。

団 体 ・ 個 人 名	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
「元気な風」入間市民の会										
One Coin チャリティーコンサート実行委員会										
WELL										
二八落語会										
はみんぐ										
ワンダフルチャリティー実行委員会										
つくしグループ(押し花)										
ハングル“楽”会										
NTTドコモ										
「文芸入間」文章サークル										
いるま塾の会										
中国語サークル(扇町屋公民館)										
中国語サークル(黒須公民館)										
中国語サークル(東金子公民館)										
北京語サークル(黒須公民館)										
藤沢ハーモニカ同好会										
アレグリア(フラメンコ)										
入間アルゼンチンタンゴ同好会										
MMジュニアストリングス										
茶々子育て支援総合センター										
NPO法人 子育て広場あいくる										
いるまファミリーサポートセンター										
児童福祉課										
おもちゃ図書館ありんこ(児童センターボランティア会)										
グラン・バレエ・アカデミー										
西埼玉ジュニアストリングオーケストラ(バイオリン)										
やまびこ陶芸教室										
NPO法人 いきいきらいふ・ネット										
企画課										
豊岡第二地区ボランティアグループ えくぼの会										
サークル きになる木(青少年活動)										
入間市スポーツチャンバラ協会										
ヒマラヤ杉気功会										
元氣会(太極拳)										
入間市レクリエーションクラブ										
入間市インディアカ連盟										
入間市ミニテニス協会										
入間市ティーボール連盟										
入間レンジャーズ(フライングフットボール)										
入間市体育協会										
入間市体育指導員協議会										

いるま生涯学習フェスティバル協賛者一覧(敬称略)

- アーバンアーツ
 アクアリゾートいるまの湯
 あさひ銀行 入間支店
 ㈱アサミ
 あさみ製茶園㈱
 (有)東工業
 あつみ園
 荒井工業所㈱
 ありんこ幼児園
 杏樹苑(特別養護老人ホーム)
 あんず幼稚園
 (有)池乃屋園
 池谷商店
 居酒屋 弁慶
 石川知子
 (有)石田解体興業
 磯花
 市川園
 市川商事(有)
 医療法人一晃会 小林病院
 入間遊び場づくり協会
 入間おやこ劇場
 入間ガス㈱
 入間くみあい製茶
 入間建材センター㈱
 入間市観光協会
 入間市管工事協同組合
 入間市社交ダンス連合会
 入間市商工会
 (社)入間市シルバー人材センター
 入間市水道協会
 入間市茶業協会
 入間市フラダンスサークル一同
 入間ジャズクラブ
 入間設備産業㈱
 入間第一ホテル
 入間都市開発㈱
 入間白門会
 社会福祉法人いるま保育園
 入間郵便局
 ㈱いわさき
 岩崎電気㈱
 インド料理ジャイプール
 宇茶戯
 英会話のジオス 入間校
 医療法人 永仁会 入間ハート病院
 医療法人 永仁会 介護老人施設ケアセンター なごみ
 越後家
 エム・スリー塗装
 宴会と仕出し東町かどや
 老茶樹園
 社会福祉法人おおぎ第二保育園
 おおぎデイサービスセンター
 社会福祉法人おおぎ保育園
 大沢はきもの店
 大西園
 大橋萼
 岡内園
 岡部 八重子
 小川工業㈱
 (有)オガワ
 奥井組㈱
 おさかベカイロプラクティックセンター
 お食事 きらく
 オダカ商店
 おもて茶房 坂本園
 音走路
 KAIMOTO ネーム
 カクエイ・サイン
 霞川をきれいにする会
 割烹こめや
 (有)桂ファーム
 加藤園
 金子ゴルフセンター(有)
 (有)金子庭園
 (有)かねもり森田園
 ㈱神山工務店
 ㈱川田製作所
 ㈱河手設備
 河村ランドリー(有)
 ㈱関東宇佐美
 木下園
 ㈱キノシタ楽器
 きもの大野屋
 ギャラリーと談話室こむ
 牛角 入間武蔵藤沢店・扇町屋店
 共生ハーモニー いるま
 熊澤鍼灸整骨院
 クリーニング かわむら
 (有)グリーンストア
 黒石歯科
 (有)黒米土建工業所
 K&H Company
 KSコピーセンター
 (有)ケイ構造建築設計室
 小島清人
 cosmetics M. Y
 こどもの家 幸保育室
 ㈱こども保育環境研究所
 コナミスポーツクラブ入間

いるま生涯学習フェスティバル協賛者一覧(敬称略)

- | | |
|---------------------|------------------|
| (有)駒井百貨店 | (有)たかまつ |
| (株)小松屋 | (株)高山印刷 |
| 小山塾 | (株)高山織物 |
| (有)近藤園 | (株)龍産業 |
| サイクルショップマスコ | (株)竹本土建工業所 |
| 埼玉トヨペット(株)入間支店 | 田代園 |
| 埼玉西ヤクルト販売(株) | タス会計事務所 |
| 埼玉幼保 | (株)田中工業所 |
| (株)坂宗商店 | 田中律子・祐子バレエスクール |
| 坂ノ下鋳金(有) | (有)田辺商店 |
| (有)サカモト | たにかわ眼科クリニック |
| 坂本クリニック | たびしょう |
| 坂本歯科クリニック | 千歳園 |
| (有)佐藤住設商会 | チャールストン |
| 狭山ヶ丘学園スポーツスクール | 茶々子育て支援総合センター |
| 狭山至誠堂 | 中国料理 きりん |
| 澤田医院 | 司産業(株) |
| (株)サン物流 | 司屋そば店 |
| JAいるま野 | 土屋興業(株) |
| シェーンイングリッシュスクール 入間校 | 手打ちうどん つきじ |
| 塩野商店 | 手づくりハンバーグの店 タジマ |
| 下枝医院 | (有)寺井工業 |
| シティホールいわさき | テレブシコーレ IRUMA |
| シマザキ印刷 | 東京化学塗装(株) |
| (株)島崎土建 | 東京コスモ石油サービス |
| (有)嶋吹付工業 | 医療法人 東明会原田病院 |
| (株)清水電機 | (株)トーマ |
| 霜原ゴルフガーデン | 徳永商会 |
| 城西国際大学 | (有)トコウ塗装工業 |
| 城西大学 | (有)豊島商事 |
| 医療法人 社団 松風会 松風荘病院 | (有)友山商店 |
| 寝具 よしかめ | 豊岡整形外科病院 |
| 伸光(株) | 豊岡第一病院 |
| 医療法人 仁友会 | ドリームバレエスタジオ |
| 医療法人 仁友会 入間台クリニック | (株)トリプレット |
| (有)スーパーイチカワ | どろだんごの会 (関谷敦子様方) |
| (有)菅原商事 | どろんこ家庭保育室 |
| (有)杉原石油 | (株)トンボ楽器社 |
| すくすく家庭保育室 | (有)ナオキグループ |
| (株)スズキガス | 中内出園 |
| 駿河台大学 | 万 中島園 |
| スワン・バレエ・アートスクール | 中島園 |
| (有)西武燃料 | (有)長武商事 |
| 関根化工 | (有)ナカノ企画 |
| (有)関根建設 | 中村牧場 |
| 千寿堂 | 肉のまるしょう |
| 曾根織物(株) | (株)西澤商事 |
| 園部工務店 | 西沢商事(株) レストランけやき |
| ソフト販売(株) | 西田千江子 |
| (有)高野園 | (有)にしの園 |

いるま生涯学習フェスティバル協賛者一覧(敬称略)

- (株)日東工業所
(株)日東テクノブレーション
日本生命 所沢支社
(有)貫井園
(有)貫井設備工業
(有)バーノメディカル工業
橋本園
パソナコンじゅく入間市駅前教室
花ふじ
原島設備
(株)原田建設
(株)バンセイ
繁田園
PC-happy. Com
東金子体育協会
ビジネス塾 篤志館
NPO法人 人づくり大学
ひびきあう劇を観る会
(有)平塚園
藤沢設備
(有)フジパン
フローレンス
不破設備工業(株)
(株)文化新聞社
ベアーズテニスクラブ
Hair House green peace
ペアーレ入間
平成まとい会
ベーカリー パンフルート
ヘヤーサロン デリック
ボワサン
(株)マイハンズコダマ
(株)巻田保険サービス
町屋通り 西沢園
松田産業(株)
(株)松永塗装工業
(有)松本燃料店
まとば園
間野園製茶所
マリアージュ・静(結婚相談)
丸大観光(株)
(株)丸広百貨店 入間店
(有)丸山園
丸山園
盈進学園 東野高等学校
(有)三浦屋海苔店
(有)瑞穂物産
水村園
(株)水村
水村園製茶所
(株)水村タオルグッズ販売
ミセス・アン
(有)三ツ木設備
(株)宮岡運輸
(有)宮源商店
(株)宮崎土建工業所
(株)武蔵カントリー倶楽部
(株)武蔵野園
学校法人 武蔵野音楽学園
(有)武蔵野金属塗装
武蔵野塗装
(株)武蔵臨床検査所
(株)明治総合警備システム
明治堂印刷
メガネトップ 入間店
メガネのフジタ
(有)モアクリエイティブ
もとかじスタジオ
もとかじ薬局
もとじめ園
もめんの家節
森田設備工業(株)
森田鋳金
モンタナスポーツ 入間
(株)八木産業
やきとり佳味
(有)山崎工業所
(株)山崎自動車商会
山崎商店
山路人形
山田 千里
(株)ヤマトウ
やまびこ工房・陶芸教室
(株)やまもり本店
ユニバーサルOAスクール
(有)湯本会計事務所
洋品センター(有)関根
横田久雄
吉沢家具(株)
吉沢建設(株)
吉野酒店
(株)吉野製麺所
読売新聞入間市西部サービスセンター
理容シオノ
レモン画翠
(株)若竹
(有)ワンズワン

他 3 件

ご協力ありがとうございました。

進化しつづける生涯学習フェスティバル

第7～10回実行委員長 山尾聖子

「生涯学習?」「じゃ、とりあえず何でもアリで」
そのおかげで、いるま生涯学習フェスティバルには、あらゆる分野で活動する市民が集まり、おのずと行政内各課の連携ができていきました。

「生涯学習?」の答えを見つける前に、「男女共生」「介護保険」「NPO」「IT」「合併」と次々に新しい課題が登場し、「市民も行政も一緒に学習しながらまちを作っていくきっかけ」としての生涯学習フェスティバルが確立しました。

現在では、その日一日のお祭りにとどまらず、年間を通じてさまざまな取組が継続的に行われ、分野を超えた市民のつながりが展開されています。

委員長として意識してきたのは ①市民の新しい動きをキャッチする
②先例にとらわれない ③市民と行政のバランスをとる の3点です。

市民と行政、市民間、行政間の協働の極意は、「話し合って理解し、互いを尊重する」に尽きます。馴れ合うことではありません。また、行政職員がしっかりしていると、市民はすぐ依存してしまいます。市民は「望むことは自分達でできるかぎりやる」という責任を忘れてはなりません。

インターネットのおかげで、実行委員会の意志の疎通がよくなり、情報の集積という思いがけない置き土産ができました。他市町村に誇れる生涯学習情報「まなびの場」は、まさにフェスティバルとインターネットの賜物です。2年がかりで各公民館にお願いして出していただいたサークル情報を、立ち上げたばかりの市HPの担当者がフェスティバル会場で偶然発見しなかったら、何年かかってもまとまることはなかったでしょう。

また、去年は、生涯学習の公式サイトだけではなく、「元気ねっと」に膨大なフェスティバルデータが構築されました。次はネット上で生涯学習王国を作ろうという動きまで出てきました。

これからこのフェスティバルで何が生まれてくるか、だれにも全く予想がつきません。入間市民の新しいエネルギーを形にしていく場であることだけは確かです。

編集にあたって…編集後記

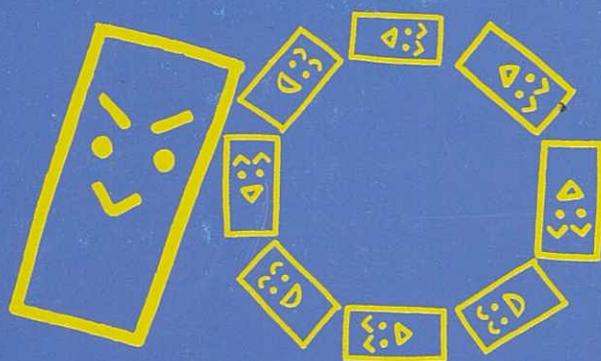
生涯学習フェスティバルは、もう10年？まだ10年？フェスティバルを振り返るにはまだ早いという方もいるでしょう。ですが、この10回分をまとめてみて、市民と職員、市民同士が警戒しながら(?)向き合って、回を重ねるごとに互いを理解しながら貴重な時間を共有してきたのだとつくづく思います。寄稿していただいたお一人お一人の原稿からは、様々な考えを持った人たちとの出会いの楽しさや葛藤、刺激、共感といったものがあふれていて、フェスティバルが皆さんにとって大切な場になっていることがよくわかります。この実践の積み重ねが最近はやりの「協働」とかなんとかいう関係を作っていくのでしょうか。

ともあれ、愛情たっぷりの原稿をお寄せいただいた実行委員、参加団体の皆様を始め、この10年間をともに作り上げてくださった市民、行政職員、企業の皆様、本当にありがとうございました。また、お名前を掲載できなかった多くの当日スタッフや事前応援スタッフの方々にも…！皆様の応援がなければ、フェスティバルはこんなにも盛り上がらなかったことでしょう。

11回以降も、この民主的で刺激的なフェスティバルの場が、より多くの熱意ある市民をつないでいきますよう大いに期待をしております。

2005年3月

フェスティバル実行委員会10周年部会



いるま生涯学習フェスティバル10年の軌跡

編集・発行 いるま生涯学習フェスティバル実行委員会
発行年月 平成17年(2005)3月